Japan Federation of Construction Management Engineers Associations

JCM

設立30周年記念誌

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

JCM

設立30周年記念誌

CONTENTS

1　会長挨拶

（一社）全国土木施工管理技士会連合会会長　奥野 晴彦

2　祝辞　設立 30 周年に寄せて

国土交通省技監　吉岡 幹夫

3　全国技士会

4　設立 30 周年記念事業
6　式典の様子
10　これまでの歩み
13　設立 20 周年から現在までの動き
19　寄稿　「設立 30 周年を機に、土木施工管理技士の技術力と社会的地位の更なる向上を」

21　都道府県等技士会

22　技士会の活動状況

73　資料

74　全国土木施工管理技士会連合会年表
78　全国土木施工管理技士会連合会　歴代役員一覧
80　平成４年～平成 11 年までの会員理事

表紙写真：第6回土木工事写真コンテスト優秀賞「力をあわせて」福永一貴さんの作品

会長挨拶

一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会
会長　**奥野 晴彦**

一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会は、平成４年２月27日に当時の建設大臣から法人設立許可を得て設立されました。

本来であれば、昨年が設立30周年にあたりますが、コロナ感染症の関係で１年遅れとはなったものの、国土交通省技監の吉岡様をはじめ関係各位のご臨席を賜り、無事記念式典を行うことができました。

遡れば昭和44年に土木施工管理技術検定制度ができ、以来、多数の土木施工管理技士が送り出されて参りました。

この制度の発足当時、この資格を実務に活かす様な仕組みが必ずしも明確とは言い難く、制度に対する世間の認識も、また資格自体に対する当事者自身の自覚も確立していなかったため、技士の資格を有する方々が集まって組織を作る気運は、なかなか醸成しなかった様であります。そうした中で、全国に先駆けて初の技士会が静岡県に誕生したのが、昭和51年でありました。

当時、技士会を作ってどういうメリットがあるのかという意見に対し、「技士会はメリットを求めて作るのではなくて、作って、力をつけてメリットを自ら生み出そう、自らの体質を強化すること自体がメリットなのだ」と言う信念の下に誕生にこぎ着けたそうですが、幸いにして先輩達が抱かれたこの信念は、その後、全国に続々と技士会が誕生していった事実と、その活動実績とで、全国の技士会の皆様方の確信へとなり、これが、今の技士会連合会の存在感にも繋がっているところです。

現在の日本の建設業界は、人材の確保や働き方改革が喫緊の課題となっており、建設生産現場を土木技術者にとって魅力ある職場とすることや一層の生産性向上を進める必要があります。そのため、土木技術者個人の技術力向上のみならず、施工管理技術の発展や現場環境改善の活動を、今後も強力に押し進めていかなければなりません。

改めて申し上げるまでもなく、連合会の使命は、土木施工管理技士の技術力と社会的地位の向上に努め、良質な社会資本整備に貢献することにあります。これまでの30年間諸先輩の熱い思いを忘れず、多くの活動を行ってまいりましたが、現在の激しく変化する時代の動きをつかみ、次の時代に向けこれからも一層、使命の達成に向けて努力を続けてまいる所存であります。皆様方には引き続きご支援、ご協力を賜りますことをお願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。

祝辞

設立30周年に寄せて

国土交通省
技監　**吉岡 幹夫**

全国土木施工管理技士会連合会の設立30周年まことにおめでとうございます。

土木施工管理技士会は、建設業法の技術検定制度により認定された国家資格の一つである「土木施工管理技士」が会員であります。国民生活に深く関わる社会資本を整備・管理するうえで、土木施工管理技士の高品質で正確な施工管理等の技術は必要不可欠なものであると認識しています。

貴会では現場における技術者の声を集約して発注者に伝えるため、アンケート調査や意見交換会を実施し、発注者の良きパートナーとして工事現場の様々な改善に努められ、建設産業の発展とともに、国土交通行政の推進に対して大きく貢献されております。

貴会の主たる事業であるCPDS（継続教育）は、資格を取っただけでは不十分だと考える向学心に燃えた方々の自己評価から始まった制度だとお聞きしております。国土交通省でも、平成17年の品質確保法の施行を踏まえ、品質をより重視して公共事業を評価する総合評価方式を導入し、技術者を評価する項目として、CPDSを含めた継続教育を採用しております。また、令和３年度からは経営事項審査において、CPDが加点項目に追加される改正が行われたこともあり、技士会の会員数及びCPDS会員数が増加傾向にあると聞いています。

近年頻発する自然災害、令和６年４月からの建設業における時間外労働規制の見直し、担い手確保など、建設業界は待ったなしの課題が山積みです。国土交通省としても、建設業界の皆さまと共に労務単価の引き上げ、月単位での週休２日の確保、インフラ分野のDXの推進など、新３K（給与が良く、休暇が取れ、希望が持てる）に「かっこいい」が加わった建設産業の実現に取り組んでいます。その様な中、人々の生活を支える社会基盤を整備し、次世代に受け継ぐには、現場の中核となる土木施工管理技士の方々の役割・使命はこれからも非常に大きく、貴会には重要な役割を担って頂くことになると期待しております。

最後に、今後も全国土木施工管理技士会連合会が土木施工管理技士の技術力及び資質の向上などに一層貢献され、社会基盤の充実の核となられるとともに、個々の土木施工管理技士が社会的使命と責務の遂行に取り組んでいかれることを切に願い、私のお祝いの言葉といたします。

全国技士会

JCM 30th

設立30周年記念事業

式典　令和５年６月２日（金）15：15～17：00
アルカディア市ヶ谷霧島の間（６階）

次　　第

1．開会
2．会長挨拶　　全国土木施工管理技士会連合会　会長　奥野晴彦
3．来賓挨拶　　国土交通省　技監　吉岡幹夫
4．来賓紹介
5．感謝状贈呈
6．連合会30年の歩み　　「いままで」そして「これから」　　小林専務理事
7．記念講演
「建設業をあこがれの職業ナンバー１へ～選ばれるための条件とは～」
土木伝道師デミ一博士こと出水亨
8．閉会

ご来賓

参議院議員		佐藤　信秋　様
参議院議員		足立　敏之　様
国土交通省	技監	吉岡　幹夫　様
国土交通省大臣官房	技術総括審議官	加藤　雅啓　様
国土交通省大臣官房	技術審議官	佐藤　寿延　様
国土交通省大臣官房技術調査課	課長	見坂　茂範　様
国土交通省大臣官房	技術調査官	西野　　毅　様
国土交通省大臣官房技術調査課	建設技術調整室長	竹林　秀基　様
国土交通省大臣官房技術調査課	建設システム管理企画室長	室永　武司　様
国土開発研究法人　会場･港湾･航空技術研究所	港湾航空技術研究所長	河合　弘泰　様
（一社）全日本建設技術協会	会長	大石　久和　様
（一財）地域開発研究所	理事長	福富　光彦　様
（一財）建設業技術者センター	理事長	谷口　博昭　様
（一財）先端建設技術センター	理事長	佐藤　直良　様
（一社）日本橋梁建設協会	会長	高田　和彦　様
（一社）日本橋梁･鋼構造物塗装技術協会	会長	槌谷　幹義　様
（一財）全国建設研修センター	専務理事	岸田　弘之　様
（一財）地域開発研究所	常務理事	前田　陽一　様
（一社）全国建設業協会	技術顧問	牧角　　修　様
（一社）日本道路建設業協会	副会長兼専務理事	増田　博行　様
（一社）土木技術者女性の会	会長	牛山　育子　様
前（一財）地域開発研究所	常務理事	牧　　哲史　様
鹿島建設株式会社	常務執行役員	下保　　修　様
（公社）全国工業高等学校長協会	事務局次長	渡邉　　隆　様
		古川　恒雄　様
		猪熊　　明　様
		鈴木菜穂子　様
		高木　慎一　様

式辞　会長　奥野　晴彦

祝辞　国土交通省　技監　吉岡　幹夫

感謝状贈呈者

肩書は令和５年６月２日現在

全国土木施工管理技士会連合会役員関係
平成24年の20周年記念から現在までの間に６年以上連合会の役員等として在任された方

元　連合会　会長	小林　康昭　様	
元　連合会　会長	谷口　博昭　様	
元　連合会　理事・企画運営委員会委員長	下保　　修　様	
元　連合会　理事	渡邉　　隆　様	
連合会　理事・企画運営委員会副委員長	岸田　弘之　様	
元　連合会　専務理事	猪熊　　明　様	
連合会　副会長	川﨑　博巳　様	((一社) 北海道土木施工管理技士会　会長)
連合会　副会長	北林　一成　様	(秋田県土木施工管理技士会　会長)
連合会　企画運営委員会委員	中村　幸正　様	(青森県土木施工管理技士会　会長)
元　連合会　企画運営委員会委員	新里　英正　様	(元　沖縄県土木施工管理技士会　会長)
元　連合会　企画運営委員会委員	福地　裕吉　様	(元　沖縄県土木施工管理技士会　会長)
連合会　企画運営委員会委員	佐々木利光　様	(日本橋梁建設土木施工管理技士会企画広報委員会副委員長)

12名

技士会会長

平成24年の20周年記念から現在までの間に６年以上技士会の会長として在任された方

元　(一社)北海道土木施工管理技士会	会長　熊谷　勝弘　様	(一社)北海道土木施工管理技士会	会長　川﨑　博巳　様
青森県土木施工管理技士会	会長　中村　幸正　様	宮城県土木施工管理技士会	会長　廣谷　秀男　様
元　宮城県土木施工管理技士会	会長　佐藤　博俊　様	秋田県土木施工管理技士会	会長　北林　一成　様
元　山形県土木施工管理技士会	会長　澁谷　忠昌　様	元　千葉県土木施工管理技士会	会長　宮村　良典　様
千葉県土木施工管理技士会	会長　小宮山房信　様	元　新潟県土木施工管理技士会	会長　猪俣　　茂　様
元　石川県土木施工管理技士会	会長　江口　介一　様	元　福井県土木施工管理技士会	会長　松田　七男　様
山梨県土木施工管理技士会	会長　砂田　武士　様	元　長野県土木施工管理技士会	会長　牛越　恵司　様
岐阜県土木施工管理技士会	会長　前田　守廣　様	元　(一社)静岡県土木施工管理技士会	会長　山田　壽久　様
元　愛知県土木施工管理技士会	会長　沼野　秀樹　様	元　(一社)滋賀県土木施工管理技士会	会長　森本　　治　様
元　(一社)滋賀県土木施工管理技士会	会長　田中　久雄　様	元　京都府土木施工管理技士会	会長　岡野　益巳　様
大阪府土木施工管理技士会	会長　奥野　博明　様	元　奈良県土木施工管理技士会	会長　松本　良三　様
元　奈良県土木施工管理技士会	会長　山上　雄平　様	元　(一社)鳥取県土木施工管理技士会	会長　井中　紳二　様
元　島根県土木施工管理技士会	会長　長岡　秀治　様	元　岡山県土木施工管理技士会	会長　辻　　孝　様
元　広島県土木施工管理技士会	会長　島田　伸彦　様	元　山口県土木施工管理技士会	会長　勝井　　優　様
元　徳島県土木施工管理技士会	会長　五藤　康人　様	元　香川県土木施工管理技士会	会長　佐々木正富　様
香川県土木施工管理技士会	会長　朝倉　一郎　様	元　愛媛県土木施工管理技士会	会長　星加　隆夫　様
(公社)高知県土木施工管理技士会	会長　田邊　　聖　様	元　佐賀県土木施工管理技士会	会長　下村　敏明　様
長崎県土木施工管理技士会	会長　武藤　　剛　様	元　大分県土木施工管理技士会	会長　小田修一郎　様
元　宮崎県土木施工管理技士会	会長　竹尾　通洋　様	元　鹿児島県土木施工管理技士会	会長　木山　裕継　様
元　沖縄県土木施工管理技士会	会長　新里　英正　様	元　沖縄県土木施工管理技士会	会長　福地　裕吉　様
日本塗装土木施工管理技士会	会長　加藤　敏行　様		

41名

式典の様子

受付風景

会長あいさつ

来賓祝辞

来賓紹介

功労者表彰

会場風景

「いままで」そして「これから」

記念講演

祝賀会の様子

来賓あいさつ

来賓紹介

乾杯

技士会集合写真

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

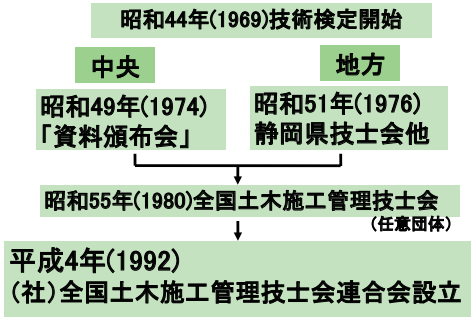
中締め

設立30周年記念祝賀会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

これまでの歩み

1．設立

土木施工管理技士の制度ができたのは、昭和44年の技術検定の始まりに由来します。昭和49年に土木技術者の有資格者のための資料を配布する「資料頒 布会」が創設されました。一方、昭和51年には全国に先駆け静岡県に「静岡県土木施工管理技士会」が設立されました。この後「資料頒布会」が「土木施工管理技士会」と名称を変え、各県に設立された技士会と共に、昭和55年に任意団体の「全国土木施工管理技士会」を設立しました。そして、当時の全国技士会の中村会長、増岡顧問、建設省の豊田技術審議官等沢山の方々のご努力により、平成４年に晴れて「社団法人全国土木施工管理技士会」の設立に至りました。



全国土木施工管理技士会
中村会長

(社)全国土木施工管理技士会連合会
初代　増岡会長

2．第1期（黎明期）

第一期10年 （黎明期）
平成4年(1992)～平成14年(2002)

平成4年（1992）	（社）全国土木施工管理 技士会連合会設立 初代会長　増岡　康治 事務所を港区東麻布に構える ・JCMマンスリーレポート発刊 （現在はJCMレポートで隔月発行） ・技術図書発行 ・各種技術講習会を全国で開催
平成6年（1994）	事務所を千代田区九段南に移転
平成７年（1995）	・監理技術者講習の受託開始
平成９年（1997）	第２代会長　長尾　満 ・倫理要綱制定 ・技術論文表彰制度制定 ・技術論文集発行 ・ホームページ開設
平成10年（1998）	・連合会表彰制度の制定
平成11年（1999）	・建設大臣優良団体表彰を受賞
平成12年（2000）	第３代会長　本山　蕃 ・CPDSの運用開始

3．第2期（発展期）

第二期10年(発展期)
平成14年(2002)～平成24年(2012)

平成15年（2003）	・土木施工管理技士に関 するアンケートの開始（以降３年毎に実施）
平成16年（2004）	第４代会長　豊田　高司 ・監理技術者講習の実施機関に登録され講習開始 ・国交省との意見交換会を開始
平成17年（2005）	・品質確保促進ガイドラインに技術者評価でCPDが計上。これを機に、技士会会員及びCPDS会員が増加
平成20年（2008）	・第５代会長　小林　康昭
平成21年（2009）	・ＣＰＤＳ加入者が10万人を突破
平成22年（2010）	・CPDSを商標登録
平成23年（2011）	・技士会会員が10万人を突破 ・全都道府県の技士会が全国技士会連合会に加入。現在の50技士会体制となる ・現地調査を開始 東日本大震災の被災地視察が始まり
平成24年（2012）	・法人格を一般社団法人へ 移行

4. 第3期（成熟期）

第三期10年（成熟期）
平成24年（2012）～令和4年（2022）

平成24年（2012）	・法人格を一般社団法人へ 移行
平成25年（2013）	・土木工事写真コンテスト開始 ・ＣＰＤＳ加入者が15万人を突破
平成26年（2014）	第６代会長　谷口博昭 事務所を千代田区五番町に移転（現事務所）
平成30年（2011）	・ホームページをリニューアル
令和2年（2020）	第７代会長　奥野晴彦 ・コロナ感染症の影響で業務方法の変革 リモートによる表彰式、会議、講習等
令和３年（2021）	・ＣＰＤＳが経営事項審査の加点項目に追加（技士会会員、ＣＰＤＳ会員が再び増加傾向に） ・事業システム全てを現システムに更新 ・土木施工管理技士補の資格が新設
令和4年（2022）	設立30周年式典はコロナ感染症の影響により延期
令和5年（2023）	設立30周年記念式典・祝賀会を1年遅れで実施

5. これからの技士会（変革期）

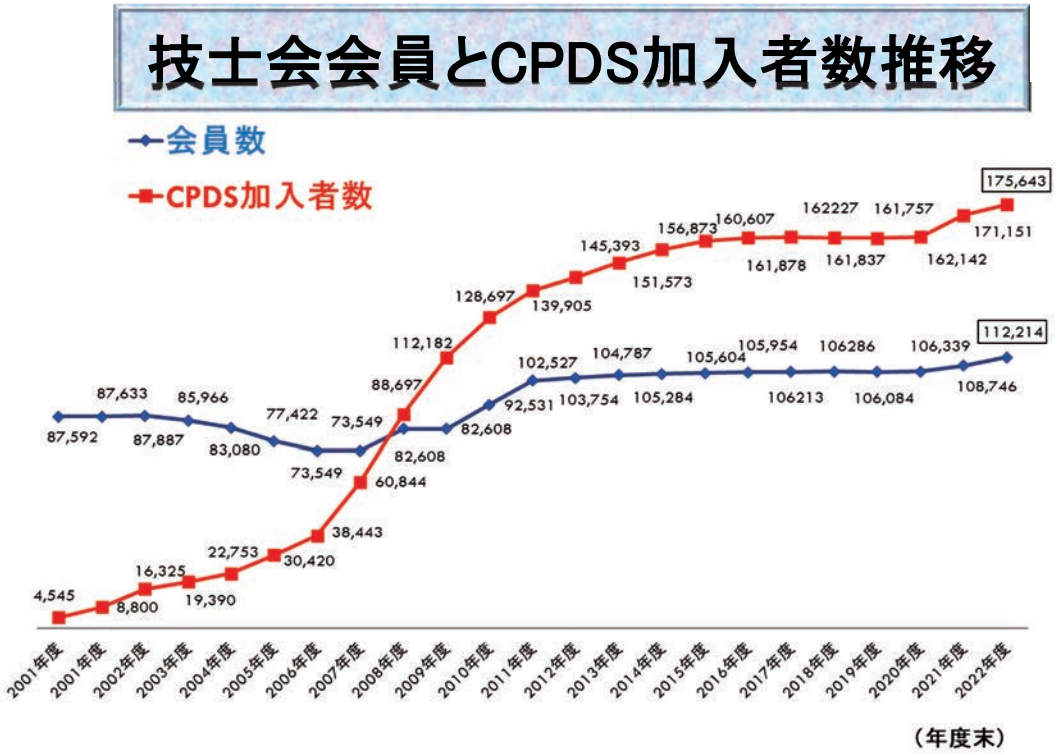
社会の変革に合わせた変革が必要
人材の不足・働き方改革への対応
～新３Ｋ（給料・休暇・希望）に向けて～

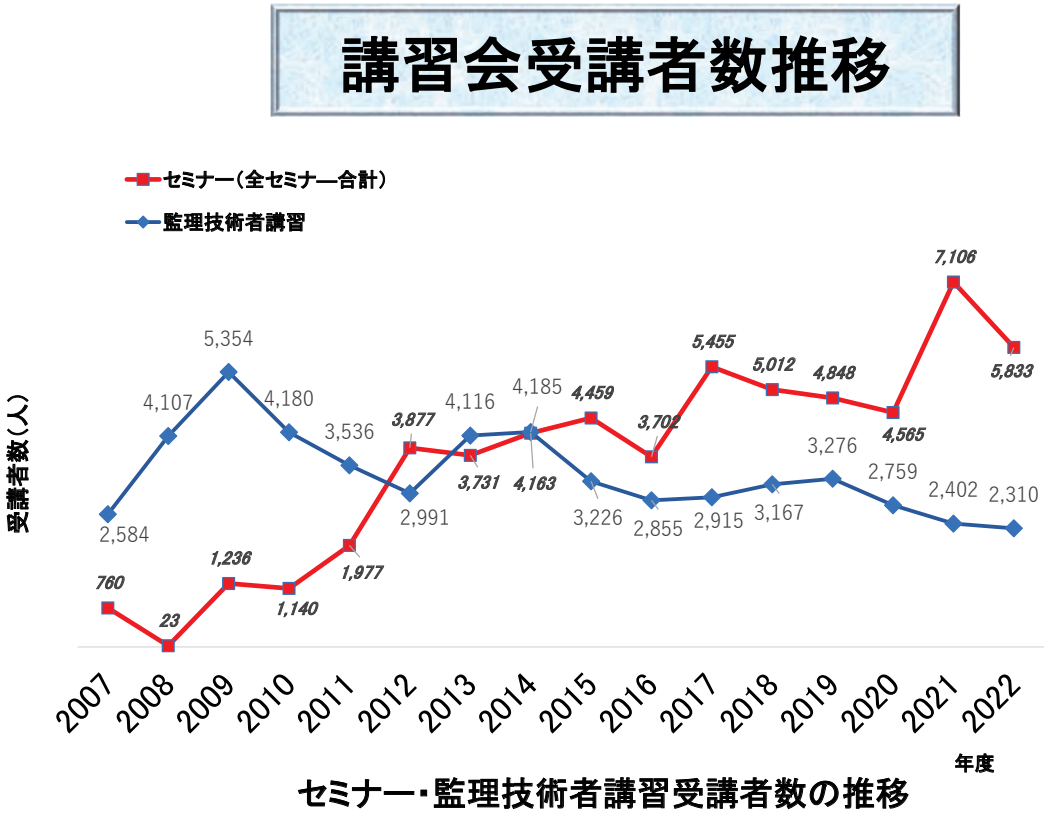
これからは
・インフラ分野のDXに対応し、新しい技術を習得し、生産性の向上を図る必要がある。
・残業の削減、休日の確保を行い、建設技術者の魅力をアピールする必要がある。

そのためにも、技士会の活動内容の充実が重要
・インフラ分野のDXを含め、技術講習会の充実を図る。
・活用の範囲の増えたＣＰＤＳの信頼性向上に努める。
・2003年から行っている現場の技士に対する3年の一度のアンケート調査や発注者との意見交換を通じて現場の改善（働き方改革・現場環境）に努める。

時代に適応して変化しつづける技士会であり続ける

6. 会員数と受講者の推移





■ 設立20周年から現在までの動き ■

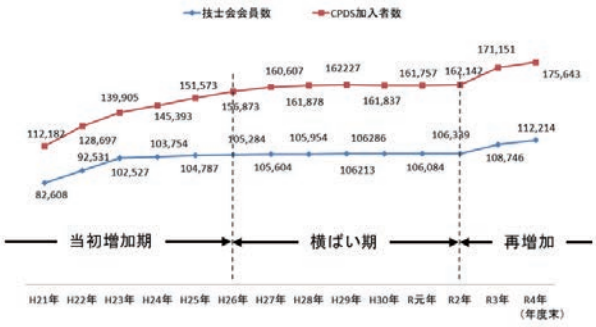
平成24年に設立20周年を迎えてから30周年を迎えるまでに様々なことがありました。その中で、主なものを挙げてみます。

1．技士会会員数及びCPDS会員数

連合会の正会員は50の技士会で平成23年以降変わっていませんが、それぞれの技士会に所属する会員数の合計を技士会会員数と呼んでいます。

この10年の技士会会員数及びCPDS会員数の変化は下図のとおりです。

平成18年から取り入れられた総合評価において、CPDSが技術者評価の加点項目になったことを受け、加入者は大きく増加しました。その後、平成20年代後半からほぼ横ばい状態であった会員数は、令和３年から経営事項審査において、CPDSが加点項目に加わったことの影響で、再び増加傾向となっており、技士会会員数は11万人を越え、CPDS会員数は18万人に近づいています。



2．総会

令和元年まではほとんどの技士会が出席して行われていたものが、コロナ感染症の影響で、令和2年の出席はわずか4技士会で、他の技士会は書面による表決でした。また、リモート用の機材もなく、改選理事の役員決めの理事会も、総会終了後、直ちにメールのやり取りで行われました。写真は令和3年の総会のもので、出席は５技士会と少ないもののリモート中継のカメラが中央に見えます。

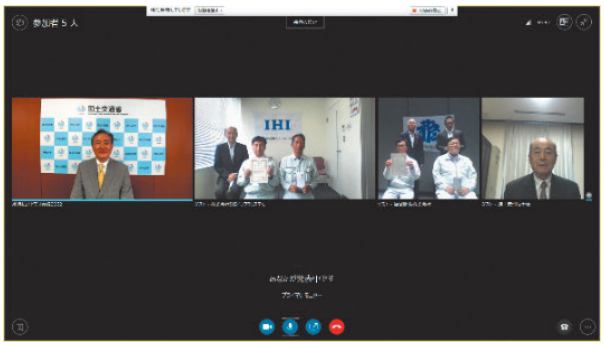
なお、コロナの明けた令和5年の出席は40技士会になりました。

令和３年の総会状況

3．最優秀技術論文表彰式

最優秀技術論文の表彰式は、例年、総会の中で行われていますが、令和2年はコロナ感染症の影響で開催できず、6月25日に、国土交通省（山田技監）、技士会連合会会長室（奥野会長）、高知市・堺市（受賞者）の４か所を繋ぎリモートで実施しました。技士会としては初めてのリモートの活用となりました。翌令和3年は、総会と併せて実施しましたが、技術総括審議官（技監代理）が国交

省からリモートでの出席（写真中央スクリーン）となりました。なお、令和4年からは例年通り実施されています。



令和２年

令和３年

４．国土交通省との意見交換会

平成16年から行われている国土交通省との意見交換会も、令和2年と令和3年はリモートで行われました。なお、令和4年は対面で行われましたが、席間隔を広くしたため、ゆったりとしています。

コロナ感染症流行前

令和２年

令和３年

令和４年

５．現場視察

豊田元会長の提案で平成23年から始まった現場視察は、東日本大震災の復旧状況を視察するため、岩手県、宮城県、福島県を2巡した後、東北を離れ、各地に行くようになりました。しかしながら、令和2年度からはコロナ感染症の影響で3年間中断し、令和5年に4年ぶりに再開されました。

H23 年	岩手県 1 回目	H24 年	宮城県 1 回目	H25 年	福島県 1 回目
H26 年	岩手県 2 回目	H27 年	宮城県 2 回目	H28 年	福島県 2 回目
H29 年	熊本県	H30 年	静岡県	R1 年	広島県
R 2～4年　コロナ感染症で中止				R5 年	再開（北海道）

岩手県１回目

宮城県１回目

福島県１回目

岩手県２回目

宮城県２回目

福島県２回目

熊本県

静岡県

広島県

北海道

６．土木工事写真コンテスト

土木工事写真コンテストは平成23年から始まり、令和5年で第11回目を迎えます。作品の中で優秀なものはJCMレポートの表紙やホームページを飾っています。過去の最優秀作品は以下のとおりです。本誌の表紙も、この応募作品から選ばれています。

土木工事写真コンテストこれまでの最優秀賞作品

第１回（平成25年）

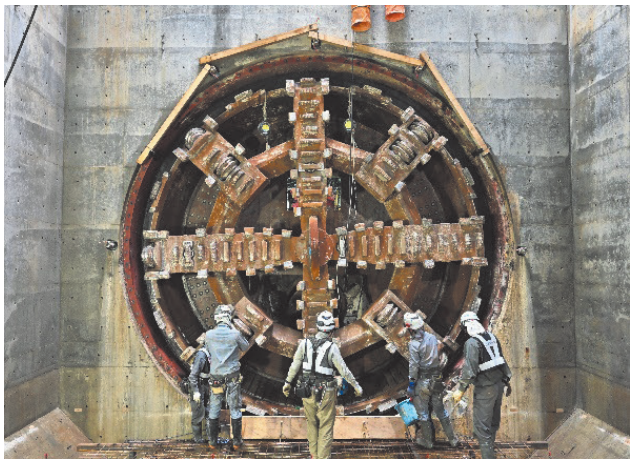
第２回（平成26年）

第３回（平成27年）

第４回（平成28年）

第５回（平成29年）

第６回（平成30年）



第８回（令和２年）

第７回（令和元年）

第９回（令和３年）

第10回（令和４年）

寄稿

「設立30周年を機に、土木施工管理技士の技術力と社会的地位の更なる向上を」

全国土木施工管理技士会連合会
第６代会長　**谷口 博昭**

私は、平成26年５月から３期６年に亘り、全国土木施工管理技士会連合会（JCM）会長を勤め、設立30周年記念式典において感謝状を戴きました。この間、専務はじめ多くの方々にご支援、ご協力戴き大過なく務めを果たすことが出来ました。ここに、改めて感謝、御礼を申し上げ、幾つかの想い出を書き留めます。

まずは、平成６年からの入居ビルが老朽化、手狭で執務室が３階と１階とに分散し不便であり女子トイレも足りず、収支を吟味の上移転を決断、平成26年暮れに現位置に移転しました。就任したばかりでしたが無事に移転することが出来、安堵しました。

次に、小林康昭前会長の時に豊田高司元会長が提案された東日本大震災の復旧・復興状況の年一回の会員希望者による現場視察です。岩手、宮城、福島各県２回の視察を終え、新たに熊本、広島、静岡各県の現場視察を行いました。今後とも現場を自分の眼で見、当事者の生の声を聞くことを心掛け、現場主義を貫くことを期待します。

３点目は、現場技術業務委託の介在により書類の簡素化が進展しない事態打開のため、四国地方整備局と四国技士会が共同で「工事関係書類等の適正化指針」を作成したことです。今後とも官民の適切な役割分担の下、建設事業をスマートに実施して行くことを期待します。

４点目は、他の団体に先駆け平成12年に導入したCPDS（継続学習）の重要性です。厳格すぎるとかIT学習と差をつけるべきとかの意見がありますが、今後とも枢要な事業として良き伝統を維持しつつ進化することを期待します。

結びに、インフラ・ストラクチャーは生活経済社会を支える下部・構造、基盤です。生活経済社会の進化・高度化に応じて適応することが肝要であり、未来志向に立てばインフラの概成は無く、質の良いインフラを後世に残すことが求められます。JCMは、土木施工管理技士の技術力・社会的地位の向上、施工・施工管理の技術の発展、工事の安全・品質・効率の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目的としています。設立30周年を機に、土木施工管理技士の技術力と社会的地位の更なる向上を期待します。

都道府県等技士会

JCM 30th

技士会の活動状況

都道府県等技士会一覧

（一社）北海道土木施工管理技士会
青森県土木施工管理技士会
岩手県土木施工管理技士会
宮城県土木施工管理技士会
秋田県土木施工管理技士会
山形県土木施工管理技士会
福島県土木施工管理技士会
茨城県土木施工管理技士会
栃木県土木施工管理技士会
群馬県土木施工管理技士会
埼玉県土木施工管理技士会
千葉県土木施工管理技士会
東京土木施工管理技士会
神奈川県土木施工管理技士会
新潟県土木施工管理技士会
富山県土木施工管理技士会
石川県土木施工管理技士会
福井県土木施工管理技士会
山梨県土木施工管理技士会
長野県土木施工管理技士会
岐阜県土木施工管理技士会
（一社）静岡県土木施工管理技士会
愛知県土木施工管理技士会
三重県土木施工管理技士会
（一社）滋賀県土木施工管理技士会
京都府土木施工管理技士会
大阪府土木施工管理技士会
兵庫県土木施工管理技士会
奈良県土木施工管理技士会
和歌山県土木施工管理技士会
（一社）鳥取県土木施工管理技士会
島根県土木施工管理技士会
岡山県土木施工管理技士会
広島県土木施工管理技士会
山口県土木施工管理技士会
徳島県土木施工管理技士会
香川県土木施工管理技士会
愛媛県土木施工管理技士会
（公社）高知県土木施工管理技士会
福岡県土木施工管理技士会
佐賀県土木施工管理技士会
長崎県土木施工管理技士会
熊本県土木施工管理技士会
大分県土木施工管理技士会
宮崎県土木施工管理技士会
鹿児島県土木施工管理技士会
沖縄県土木施工管理技士会
日本橋梁建設土木施工管理技士会
日本塗装土木施工管理技士会
（一社）現場技術土木施工管理技士会

活動報告 一般社団法人北海道土木施工管理技士会

会長　川﨑　博已　　事務局長　森野　鉄也　　事業部長　北野　恵一

〒060 － 0005　札幌市中央区北５条西６丁目１番地23　北海道通信ビル３階
TEL　011 － 200 － 8911　　FAX　011 － 200 － 8912
URL　https://www.hogishi.com/

1　技士会の概要

当技士会は、昭和55年３月に北海道土木技士会として設立され、平成２年から社団法人となり、現在は、平成24年４月から一般社団法人として活動しています。北海道の社会基盤整備において工事施工の品質確保・施工効率の向上などを重点に、土木施工管理技術者の技術力の維持･向上と社会的地位の確立のため、CPDS（継続学習制度）に基づく各種講習会事業などを実施しています。

2　講習会事業

（１）技士会が主催する講習会

①１級（一次）土木施工管理技術検定受験講習会（２会場）
②２級土木施工管理技術検定受験講習会（４会場）
③土木施工管理技術講習会（11会場）
④ドローン操縦実習講習会
⑤技術と環境講習会
⑥新技術・新工法講習会
⑦公共工事の品質確保･施工効率の向上講習会
⑧i-Constructionに関する講習会
⑨コンクリート施工技術講習会

（２）技士会連合会が主催する講習会

①監理技術者講習（３会場12回）
②JCMセミナー

講習会

3　行政側との意見交換会

国土交通省北海道開発局と、毎年２月に現場管理上の課題等についてのアンケート調査をもとに、意見交換を行っています。

意見交換会

4　会報誌の発行

１月及び７月の年２回「会報」を発行し、約6,700名の会員並びに関係機関等に配布を行っています。

5　表彰事業

北海道開発局発注工事の施工において優良と認められた工事に従事した、主任技術者又は監理技術者に対して、毎年５月の定時総会で表彰を行っています。

定時総会

活動報告 青森県土木施工管理技士会

会長　大坂　憲一　　事務局長　福士　祐治

〒030 － 0803　青森県青森市安方二丁目９番13号　建設会館３階
TEL　017 － 722 － 7611　　FAX　017 － 722 － 7617

本会は会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上をはかるとともに、建設工事を適正に施工するために必要な専門的知識およびその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として活動しております。

【設立】

昭和57年９月20日

【組織】

役員　会長１名、副会長２名、理事１３名、監事２名、代議員３３名

支部　８支部（青森県建設業協会各支部内）

【実施事業】

通年事業としてJCMセミナーを開催。

令和４年度事業「よいコンクリートの構築と延命化技術」参加者59名

「事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ」参加者53名

【支部への支援】

支部が行う講習事業を支援。地域差の無いCPDSユニットの取得を目指す。

主な支部事業「DVDセミナー」「優良工事発表会」など。

【表彰事業】

全国土木施工管理技士会表彰規程に基づき「優良工事従事技術者」を代議員会にて伝達している。

JCMセミナー

代議員会

活動報告 岩手県土木施工管理技士会

会長　向井田　岳　　専務理事　菊池　満

〒020 － 0873　岩手県盛岡市松尾町 17 － 9
TEL　代表 019 － 653 － 6111　　FAX　019 － 653 － 6113
URL　https://www.iwaken.or.jp

岩手県土木施工管理技士会での活動は、講習会運営が主ではありますが、土木施工管理技士の資質の向上を図り、建設工事の施工に必要な専門の知識、技術及び能力を高め、優良な社会資本の整備充実に寄与することを目的としております。

1　土木施工管理技術者講習会の開催

施工管理（工程、品質、安全、原価、環境）等の技術力と資質の向上を図り、現場の施工に生かすことを目的に技術者対象（会員）として継続学習を実施しております。

県内13支部それぞれに講師が出向き、一般土木工学、施工管理基礎、施工管理応用などをテーマとして毎年開催しております。

2　電子納品・ＣＡＤ講習会の開催

会員企業の技術者等を対象に電子納品の概要学習、ＣＡＤ技術向上のため、毎年開催しております。

3　ＪＣＭセミナーの開催

全国土木施工管理技士会との共催で、毎年のテーマを選択し、土木施工に関するセミナーを技士会員に向けて開催しております。

ここ数年はサテライト形式のＷＥＢセミナーとして開催し、より多くの会員が受講できるように対応しております。

4　優良県営建設工事担当技術者会長顕彰式の開催

優良県営建設工事担当技術者（主任技術者又は監理技術者）を広く顕彰するため、顕彰式を毎年開催しております。

活動報告 宮城県土木施工管理技士会

会長　廣谷　秀男　　事務局長　西村　博英

〒980 － 0824　宮城県仙台市青葉区支倉町 2 － 48 宮城県建設産業会館 6F
TEL　022 － 262 － 2211　　FAX　022 － 263 － 7059

当技士会は、土木施工管理技士の社会的地位と品位並びに施工技術の確保向上に努め、社会資本の整備充実に寄与することを目的とし、会員の社会的地位の向上、施工技術の維持及び向上、土木施工管理に関する情報・資料の提供、その他本会の目的を達成するための事業を行っております。

主な活動内容は以下のとおりであります。

表彰

（1）宮城県土木施工管理技士会長表彰

毎年県工事において、実際に現場を担当し功績のあった技術者に対する表彰を行っている。令和5年度の受賞者は160名。

（2）土木技術奨励賞

平成12年度より毎年「土木の日記念事業」として実施する若手技術者に対する表彰制度で、応募資格を宮城県建設業協会（県内に本社を有する）または、宮城県建設業協会各支部に属する建設会社に勤務する原則40歳未満の若手技術者等を対象として､「論文の部」及び「施工の部」でそれぞれ募集を行い、記念講習、表彰式、論文発表会及び受賞者意見交換会を開催している。

現場見学会・意見交換会

毎年会員技士を対象として現場見学会及び見学会参加技士等による意見交換会を行っておりますが、コロナ禍に伴い令和4年度については、「3.11伝承ロード推進機構」で企画する震災伝承施設とともに災害復旧・復興現場等の視察を行なっている。

CPDS 対象講習会

技術力向上などに積極的に取り組む会員技士のCPDSユニット取得の機会を数多く提供するため、会員技士のニーズ・要望に応えられるよう講習会等の企画を行い、毎月1回以上のペースで実施しユニットの付与に努めている。

CPDS対象講習会実施状況（過去5年）共催等含む

年度	実施回数	参加人数（延べ）	ユニット数
H30	27	1,446	133
R元	43	1,420	128
R2	38	1,011	137
R3	37	1,014	129
R4	28	1,197	125

常磐自動車道「好間トンネル」工事現場見学会
（2019年）

三陸自動車道「気仙沼湾横断橋」工事現場見学会
（2020年）

令和元年東日本台風災害復旧工事現場見学会
（2021年）

第23回土木技術奨励賞表彰式
（2022年）

活動報告 秋田県土木施工管理技士会

会長　北林　一成　　事務局長　鈴木　隆

〒010 － 0951　秋田市山王４丁目３番10号
TEL　代表018 － 823 － 5495　　FAX　018 － 865 － 2306

本会は、平成４年７月に設立し、県内土木施工管理技士の資質の向上を図り建設工事の施工に必要な専門の知識、技術力及び能力を高め、優れた社会資本の整備充実に寄与することを目的に活動しております。

１　表彰

秋田県の優良工事表彰を受けた工事において現場代理人等として従事した技術者を平成８年度より毎年表彰するとともに、発注者を交えての受賞祝賀会を開催しております。

２　講習会

・技術力研修

秋田県との共催により、県有施設の長寿命化に向けた構造物の点検・診断業務、補修、補強工事をはじめとした施工技術の習得を目的に３日間で20ユニット獲得できる研修会を開催しております。

平成24年度から継続しており、延べ1,800人の会員技術者が受講しております。

・建設業担い手確保・育成研修

近年、担い手の確保・育成が業界の抱える大きな問題となっていることから、入社５年以内の技術者を対象に「ビジネスコミュニケーションスキルの向上」と「生産性の向上が図られる施工計画書の作成」をテーマに３日間で18ユニット獲得できる研修会を開催いたしました。

・建設 ICT 施工技術者養成講習会

スキー場跡地をICT活用工事の実習フィールドとして整備した「i-Academy恋地」を会場に３日間で24ユニット獲得できる講習会を開催いたしました。

受講生は、ICT活用工事を受注した技術者という位置付けで、ICT活用工事の５段階全てにおいて基本的な理論を座学で学び、施工技術を実習で身に着けました。

活動報告 山形県土木施工管理技士会

会　長　太田　政往　　事務局長　佐原　伸児

〒990 － 0024　山形県山形須市あさひ町 18 － 25　山形県建設会館 4 階
TEL　023 － 641 － 0328　　FAX　023 － 624 － 7391

当技士会は、平成５年８月に設立され、土木施工管理技士の社会的地位と施工技術の向上を目指し、建設工事を的確に施工するための必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって社会資本の設備充実に寄与することを目的として講習会等の開催に重点を置いて活動しています。現在1673名の会員、216社の賛助会員で構成されています。活動内容は以下のとおりです。

１．講習会・研修会

（１）技士会が主催する講習会

①１・２級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会（年１回）

土木工事に従事する技術者の施工技術の向上と土木施工管理技術検定試験に備えた講習会

②建設現場における交通誘導員の安全講習会（年３回）

路上工事の事故事例を交えながら、交通誘導員の安全に対する意識の高揚と保安施設設置基準等の理解を深める

（２）ICT 活用工事に係る研修会（年４回）

ICT活用工事の対象が1,000立方メートル未満の土工や小規模土工等にも拡大されたことから、山形県、山形県建設業協会との共催で、県のICT活用工事に関する取り組みや、小規模土工等のデモンストレーションを行う

（３）県内の高校・大学に通う女子生徒を対象とした研修会（年１回）

現在建設業の第一線で活躍している女性技術者の実際の仕事を現場で紹介するとともに、現場で働くことへの想いや仕事の魅力等について、女性技術者と女子生徒等が意見交換を行う

２．意見交換会

例年、建設業協会と共催で東北地方整備局の県内事務所長と地域建設業に係る意見交換会（年１回）を実施しているほか、東北土木施工管理技士会連合会と東北地方整備局との意見交換会（仙台市）に当技士会から最前線で活躍する２名の技術者を派遣し、現場での課題を訴えるとともに、業務改善につながるよう建設業協会との情報共有を図っている。

女子学生・生徒を対象とした研修会の様子

意見交換会の様子

活動報告 福島県土木施工管理技士会

会長　浅沼秀俊　　専務理事　相澤広志

〒960 － 8061　福島県福島市五月町４－ 25　福島県建設センター３階
TEL　024 － 521 － 0244　　FAX　024 － 522 － 4513

当技士会は、福島県内各地の土木施工管理技士会をもって組織し、土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、もって公共の福祉向上に寄与することを目的に活動しております。

活動の内容（令和５年６月30日現在）は以下のとおりです。

１．組織

（１）設立

平成４年４月８日

（２）役員等

会長１名、副会長５名、専務理事１名、理事40名、監事３名、顧問１名、評議員104名

（３）会員

正会員1,436名、賛助会員200社

（４）地区技士会

16団体

２．表彰

（１）全国土木施工管理技士会連合会会長表彰

毎年、全国技士会連合会表彰規程に基づき、正会員の役員及び永年にわたり役員、委員会の委員、職員として尽力し、その功績が顕著な者を推薦している。

令和５年度受賞者は５名

（２）福島県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会表彰規程に定める表彰基準（国・県等の公的機関及び各種団体等から表彰を受けた者）に該当する会員を表彰している。

令和５年度受賞者は15名

３．講習会

（１）当技士会が主催する講習会

スキルアップ関係、設計施工・積算関係、i-Construction・ICT関係など、県内各会場でCPDS講習会を実施している。

令和４年度は、CPDS講習会を17回開催し、受講者数は延べ489人であった。

（２）ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会への参画

県内の社会インフラの管理を担う技術者「ふくしまME」を養成することを目的とした同協議会の幹事会・審査委員会・講師会議等の運営に協力し、同協議会が主催する講習会を会員に周知するとともに積極的に参加を勧奨している。

（３）監理技術者講習会

全国建設研修センター、建設業振興基金が主催する「監理技術者講習会」に開催会場を提供している。

４．講演会

東日本大震災以降、震災の教訓を後世に活かすために毎年開催されている「フォーラム：がんばろう！東北」に、当技士会として参加協力している。　令和５年度は、７月10日に山形県山形市のホテルメトロポリタン山形において、「進もう！次の東北へ」をテーマに開催された。

県技士会会長表彰

CPDS講習会

活動報告 茨城県土木施工管理技士会

会長　細谷　武史　　事務局長　矢口　和博

〒310 － 0062　茨城県水戸市大町３－１－22　（一社）茨城県建設業協会内
TEL　029 － 221 － 5126　　FAX　029 － 225 － 1158
URL　https://www.iba-gishi.com/

当技士会は、継続学習制度（CPDS）や技術者が現場で必要となる基本的な知識、最新の土木施工技術の習得を目的とした講習会など様々な活動を通し、各土木施工管理技士の技術力・社会的地位の向上、施工及び施工管理の技術の発展、工事の安全・品質・効率の向上を推進し、ひいては安心・安全で豊かなふるさと茨城づくりに寄与して参ります。

■設立

昭和61年11月29日

■主な事業

1．継続学習制度（CPDS）の推進
2．監理技術者講習制度の推進
3．土木施工管理技士を対象とする研修及び講習会の実施
4．土木施工管理技士の社会的地位の向上
5．土木施工管理技士の業務の進歩及び改善に関する調査研究
6．土木施工管理技士に関する制度の普及及び協力
7．土木施工管理技術に関する情報の収集及び提供
8．会誌「JCMマンスリーレポート」の配布
9．土木施工管理技術に関する図書の頒布

■会員資格

・茨城県内に住所を有する者で、土木施工管理技士の資格を有すると認めた者
・日常の勤務場所が茨城県内に有る者で、土木施工管理技士の資格を有すると認めた者

■会員数

1,151名（令和５年８月現在）

【講習会】

１．現場代理人スキルアップセミナー

当技士会主催で、年２～３回、水戸会場と土浦会場で開催。参加者は、２日間にわたり、現場コストダウンの考え方と実践的な進め方や簡易な施工計画、マネジメントなどについて学んでいる。

２．JCM セミナー

毎年、全国土木施工管理技士会との共催により、JCMセミナーを実施。

３．その他講習会（共催）

１・２級土木施工管理技術検定の受験対策講習会や無人航空機（ドローン）関係講習会、などを共催として開催。

現場代理人スキルアップセミナー

無人航空機（ドローン）関係講習会

活動報告 栃木県土木施工管理技士会

会長　山根　良信　　専務理事　印南　洋之　　常務理事兼事務局長　小野﨑　忠

〒321 － 0933　栃木県宇都宮市簗瀬町 1958 － 1　栃木県建設産業会館 2 階
TEL　代表　028 － 639 － 2611　　FAX　028 － 639 － 2985
URL　https://www.tochiken.or.jp/?page_id=28595

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目ざし、技術力等の向上を目的とした講習会を定期的に開催している。また、技術者の技術力の研磨を図り、良質な構造物を建造し、土木施工管理技士としての使命や誇りの醸成を図るべく、会員技術者に対して表彰を行っている。

1　講習会

（1）土木施工管理技士等の資格取得講習会

建設業従事者が１日でも早く現場で活躍できるよう、１級・２級の土木・建築施工管理技士の資格取得をサポートする講習会を毎年開催している。多数の方が当会の講習を受講し、現在、技術者として活躍されている。

（2）CPDS 認定講習の開催

技術者が最新の技術や技能、現場マネジメント力などの向上を図り、技術者として活躍の場を広げることを目的に開催している。他団体との共催や後援の研修を含めると年間100回近い研修を実施し、当会としても力を入れている事業の一つです。

2　行政機関との意見交換会

現場が抱える課題や問題点の解決を図り、建設業が魅力とやりがい溢れる産業となるよう、国や県などの行政機関との意見交換会を定期的に開催している。

3　表彰事業

（1）技士会連合会会長表彰

技士会連合会の表彰規程に基づき、永年にわたり、当会の発展に貢献された役員や、優れた技術で工事を完工した会員技術者に表彰を伝達している。

（2）栃木県技士会会長表彰

毎年７月に行われる「栃木県優良建設工事表彰」に合わせ、知事表彰や土木事務所長表彰となった工事に携わった技術者を対象として、当会長表彰を伝達している。

4　受験申込書の販売と書籍の案内

（1）受験申込書の販売

１級・２級の土木、建築施工管理技術検定の受験予定者向けに、受験申込書を販売している。

（2）技術参考書籍の案内

工事現場の生産性向上に向けたICT技術などの習得が図れる書籍や働き方改革の推進に向けた労務管理を行うための書籍など、多数の図書を取扱い、販売や案内を行っている。

5　その他

栃木県建設業協会や栃木県建設産業団体連合会などの関連団体との連携・協力を図り、会員技術者の処遇改善を図るべく、技術者へのアンケート調査を行い、得られた結果を基に、国や県などの行政機関に陳情や要望を行っている。

講習会の実施風景

意見交換会の実施風景

活動報告 群馬県土木施工管理技士会

会長　塩原　聡　　事務局長　若田部　純一

〒371 － 0846　群馬県前橋市元総社町２丁目５番地３　群馬建設会館１階
TEL　027 － 252 － 1666　　FAX　027 － 252 － 1666　　E-MAIL　info@gun-ken.or.jp
URL　https://www.gun-ken.or.jp/

当会は県内12支部、正会員518名、会員197社、によって構成されており、会員相互の協力によって土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、工事の安全・品質の確保の向上を図ることにより、良質な社会資本整備に貢献することを目的に活動しています。

１．講習会

会員の現場の安全･品質確保の向上を目的に、CPDS認定講習を開催しています。現場技術者向けの技術講習の他、群馬県県土整備部との共催で現場の安全に関するセミナーや工事成績評点向上を目的に､監督員に講演をいただくなど、官民一体となった取り組みを実施しています。

また技術的な講習の他にも、受発注間のコミュニケーション不足の解消、建設業界の若手技術者の離職率を下げることを目的に建設業関係の経歴を持つ講師による「建設業におけるコミュニケーション・モチベーション」に特化した講習を開催し、技術面だけでなく、人間性を向上させるための講習を行うなど時代に合わせた取り組みを実施しています。

２．施工技術発表会

（一社）群馬県建設業協会と共催で実施しています。今年度（令和５年度）で15回目となるこの取り組みは、会員企業施工の土木・建築の事例発表を通じて、会員企業の現場における創意工夫、新技術の発表を通じて会員企業の技術力・提案力の向上を目指しています。毎年200名以上の会員企業の方に聴講頂いている他、官公庁の方々にも案内･聴講いただいております。

また、対面とリモート（web中継）のハイブリッド講習で開催するなど、コロナ禍を契機とした新たな取り組みを率先して行っています。

３．30 周年記念講演会

令和３年度（2021年）には当会が創立30周年を迎えたことから記念講演会を開催しました。

当日はオンライン形式での開催とし、生産性向上に積極的に取り組む企業を講師に招き､「地域建設業におけるICTの未来」と題し講演を頂きました。

活動報告 埼玉県土木施工管理技士会

会長　松本　泰典　　事務局長　山口　勝

〒350 － 0826　埼玉県川越市上寺山176番地１
TEL　代表049 － 229 － 5622　　FAX　049 － 229 － 5633
URL　https://saitamaken-gishikai.com

はじめに

連合会設立30周年、おめでとうございます。

当技士会は、昭和62年１月に全国で18番目の技士会として発足しました。（本部事務局と埼玉県県土整備事務所管内毎に１支部、12支部を設置）

本会は、「会員の社会的地位及び建設工事の適正な実施に必要な専門の知識、能力の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与すること」を目的とし、各種事業を行っています。

以下に、主な活動をご紹介いたします。

１．行政側との意見交換会

例年２月には、埼玉県県土整備部発注工事における現場管理上の課題や要望についてのアンケート調査をもとに、発注機関との意見交換を行っています。

埼玉県との意見交換会

２．土木の日記念講演会

毎年、11月には、土木の日を記念し「土木の日記念講演会」を開催しています。

土木の日記念講演会

３．現場見学会

本部、支部では、適時、県内、県外現場見学会を実施しています。

東京外かく環状道路（シールドトンネル）

埼玉県西関東連絡道路（大滝トンネル）

４．講習会

本部、支部共にCPDSを活用した各種専門分野の講習会や現場見学会を開催し、会員の技術力の維持・向上に努めています。

５．表彰

毎年、通常総会時には、連合会表彰者に対する表彰伝達式及び当技士会表彰規定に基づき、該当する会員を表彰しています。

６．おわりに

当技士会の主な活動について紹介させていただきましたが、今後の目標としては、土木施工管理技士を取り巻く環境が大きく変化する中で、会員一人一人がこのような変化への適応力と技術力の向上に資する各種事業に取り組んでまいります。

活動報告 千葉県土木施工管理技士会

会長　小宮山房信

〒260 － 0024　千葉県千葉市中央区中央港１－ 13 － １千葉県建設業センター５階（一般社団法人千葉県建設業協会内）
TEL　043 － 246 － 7624　　FAX　043 － 246 － 9855
URL　http://chikenkyou.or.jp/dobokugishikai.htm

当技士会は、優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工を確保すると共に、土木施工管理技士の資格及び社会的地位の向上を図り、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、CPDS認定講習会等の開催に重点を置いて活動しております。
活動内容は、以下のとおりです。

１．表彰

毎年、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会会長表彰受賞者に対し、通常総会終了後に表彰式を開催し、記念品を添えて表彰している。なお、令和５年度受賞者は、役員２名、優良工事従事技術者３名､30周年記念功労者２名。

２．講習会･研修会等（CPDS 認定プログラム）

（１）技士会主催で実施する講習会

一般財団法人建設物価調査会の協力を得て、土木工事積算書を合理的かつ能率的に作成できる土木工事積算実務者を育成することを目的として、「土木工事積算実務講習会基礎編及び応用編」を１回ずつ実施し、土木工事の実践的な施工計画と適正な実行予算の組み方を、現場管理の合理化促進に結びつくよう演習を通じて、その手法の修得を図ることを目的として「土木工事実行予算作成実務講習会」を実施している。

（２）技士会支部主催で実施する講習会

技士会支部がそれぞれの会員を対象として、講習会を実施している。令和４年度は、計13回オンラインで実施。内容は「工事成績評点の計算逆算分析等、考査項目別運用表を解析：７ユニット」､「建設業界の現状、ICT施工:７ユニット」､「現場代理人に必要な能力と伸ばし方、安定受注のための維持補修工事､施工例:６ユニット」。

（３）建設業協会との共催で実施する講習会

技術力向上を目的に講習会を実施している。令和４年度は計８回、延べ244名が受講した。内容は「チームワークによる生産性向上、設計変更による収益性向上：６ユニット」。

千葉県建設業センター

通常総会

表彰式

活動報告 東京土木施工管理技士会

会長　寺田　光宏　　常務理事（事務局長）　市川　光一

〒104 － 0032　東京都中央区八丁堀２－５－１　東京建設会館５階
TEL　代表 03 － 3552 － 5800　　FAX　03 － 3552 － 5832
URL　https://www.to-gisi.com

当技士会は東京駅からほど近い中央区八丁堀にある東京建設会館内に事務所を構え、平成８年５月に設立されました。令和５年８月現在の会員数は、法人会員145社・個人会員46名、賛助会員１団体となり、東京の都市づくりに寄与している土木技術者のニーズに合わせた事業内容を多面的に検討し活動しています。事業運営委員会（講習会G・現場視察G・情報広報G）において、会員土木技術者のサポートができるよう年間の事業計画や新たな試みを計画しています。

主な事業活動内容

１　講習会

大手ゼネコンの経験豊かな部長クラスの方々やコンサルタント等の専門家などを講師として迎え、年間20回以上の講習会を実施しています。新しいテーマや法改正等に関する説明会も積極的に実施し、土木施工管理技士の技術力向上に繋がる講習内容に努めています。また、コロナ禍以降オンラインを取り入れたことで、遠方の技術者に幅広く参加いただいています。

講習会

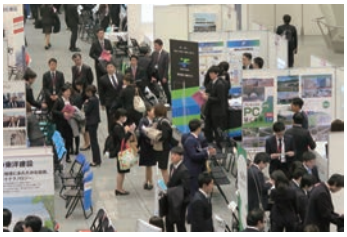
２　現場見学会

会員企業が施工している都内の現場を年間２～３回視察しています。働き方改革が進む中、BIM/CIMや ロボットを活用した生産性向上を実践している最先端技術を有効活用した現場や都市土木における難工事の工夫などを見学するほか、オンラインによる見学も実施しています。これら見学会では技術者たちの闊達な意見交換が行われています。

現場見学会

３　就活生向け合同企業説明会の実施

若者への魅力ある建設業のPRとして、会員企業に優秀な土木技術者が入職する一助となるよう「みんなの建設業☆インターンシップ＆業界研究フェスタ」を東京建設業協会と共催で毎年開催しています。これまで10年以上続いている本イベントには、全国から多くの学生が参加し、各会員企業の話に熱心に耳を傾け情報収集をしています。また、コロナ禍以降オンライン開催としたことで、より多くの学生に参加いただいています。


合同企業説明会

４　会報誌「DOBOKU 技士会東京」の発行

年４回発行し、当会の事業活動報告や土木工事現場の紹介、優良技術者紹介、コンクリートや安全に関するワンポイントレッスンなどのコーナーを設けるなど様々な視点から情報提供に努め、会員や関係団体等に配布しています。

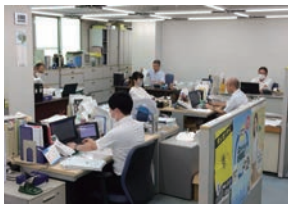
機関誌

活動報告 神奈川県土木施工管理技士会

会長　長谷川　辰巳　　事務局長　川久保　実

〒231 － 0011　神奈川県横浜市中区太田町２－22
TEL　代表045 － 201 － 8453　　FAX　045 － 201 － 2767

本会は、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適切な施工に必要な専門の知識並びにその能力の向上を目指して、会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会や行政との懇談会、現場見学会などの事業を実施している。近年は、技術者不足に伴い土木施工管理技士受験対策講座や現場の生産性向上を目的としたＤＸの推進に力を入れ活動している。



１　会議

総会、理事会を定期的に開催し、又、運営委員会、参与会（元県土木事務所長）を適時開催している。会議で実施事業について詳細に審議を重ね、事業計画に基づき運営している。

２　会員とのヒアリング

参与会（元県土木事務所長）の協力により、支部別に会員とのヒアリングを実施している。会員からは主に入札や積算、現場施工の対応など日頃から抱えている課題等について意見を伺い、課題へのアドバイスや行政への要望事項に反映させている。令和５年度は15支部で実施し、246人の参加があった。

３　行政との懇談会

ヒアリングからの意見・要望等から課題を抽出し、参与会や運営委員会で積算や施工上の課題、週休２日制やＤＸへの取組など幅広く要望事項を取りまとめ、より良い受発注者の環境の構築に向けて取り組んでいる。

４　講習会等

例年、神奈川県技術管理課等の職員を講師に、県内数カ所で説明会を実施し、県の発注工事において、適切な現場管理や施工管理、ＤＸへの取組など県が重要視している事業について周知を図っている。

また、会員より「技術者が不足しているが試験に受からない」との意見を受け、土木施工管理技士受験対策講座を開催して、会員の資格取得を支援しており、時に全国平均合格率を大幅に上回る合格率となっている。

今年度はＩＣＴ等ＤＸの一層の推進を図るため、関東地方整備局や県、政令市と協力して「かながわＤＸ推進セミナー」を実施した。

更にＡＳＰや遠隔臨場等の体験型講習の実施に向けて調整を進めている。

５　表彰事業

関東地方整備局、県、政令市から優良工事表彰等を受賞した会員の監理･主任技術者に対し、選考審査を実施の上、特に優秀な工事を施工した技術者を最優秀技術者、優秀な工事を施工した技術者を優秀技術者として表彰している。令和４年度は最優秀技術者表彰３名、優秀技術者表彰15名を表彰した。

６　現場見学会

会員企業の技術力の向上を目的に、主に県内で先端技術を活用している大規模工事現場で現場見学会を行っている。近年は新東名高速道路の建設現場を主に開催しており、令和４年度は圏央道の一部である横浜環状南線の工事現場の見学を開催した。

７　アンケート調査の実施

県発注土木工事を受注した会員企業に対し、アンケート調査を実施し、工事の利益や監督員の対応、施工上の問題、設計変更への対応、週休２日制への取組や課題等について状況の把握に努めている。

８　会員への情報提供等について

会員に対して適時情報提供を行っている。

また、JCMレポートを送付している。

活動報告 新潟県土木施工管理技士会

会長　鈴木　秀樹　　事務局長　村下　剛

〒950 － 0965　新潟県新潟市中央区新光町７番地５　新潟県建設会館１階
TEL　025 － 285 － 7111　　FAX025 － 285 － 7119
URL　https://www.shinkenkyo.or.jp

当技士会は、会員の土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適切な実施に必要な専門知識並びにその能力の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しており、現在の会員数は、法人会員である賛助会員が332社、個人会員である正会員が3,859名です。

活動の内容は、以下のとおりです。

１　表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づき、表彰対象者を連合会に推薦しています。なお、令和４年度の当技士会からの受賞者は11人でした。

２　行政との意見交換会

各行政庁及び関係団体との意見交換会を実施しており、北陸３県技士会（石川県・富山県・新潟県）と北陸地方整備局との意見交換会に参加し、土木施工管理技士を取り巻く諸課題について改善していただけるよう要請を行っております。

技士会連合会には鈴木会長が副会長として参画（令和４・５年度）し、国土交通省との意見交換会等を通じて、連合会と連携しながら会員の声を国に伝える活動を行っております。

３　講演会

毎年、通常総会後に講演会を実施しており、令和４年度は北陸地方整備局企画部長による「国土交通行政の最近の話題について」及びNPO法人ベースボールスピリッツ代表奥村幸治氏による「目標達成のセルフマネジメント～イチローの原点を知る男、田中将大を育てた男～」と題して開催しました。

４　講習会（令和４年度実施分）

（１）技士会主催 CPDS 講習会

①１級・２級土木施工管理技術検定
　第２次検定受験対策講習会
②建設ディレクター育成講座
③工事現場見学会（上中下越）
④ICT活用工事関係講習会
⑤BIM／CIM活用講習会

（２）技士会連合会主催 CPDS 講習会

①監理技術者講習会
②JCMセミナー（３回）
③DVDセミナー（２回）

（３）国・県・他団体との連携

国・県及び（一財）新潟県建設技術センター等関係団体が主催する講習会や説明会等について共催や後援の立場で協力し、会員に定期的な継続学習の機会提供を行っております。

令和５年度通常総会

工事現場見学会（下越会場）

活動報告 富山県土木施工管理技士会

会長　大橋　聡司　　副会長　開　章夫　深松　隆　　事務局長　松原　真一

〒930－0094　富山県富山市安住町３－１４　富山県建設会館３階（(一社）富山県建設業協会内）
TEL　代表 0764－432－5576　　FAX　076432－5579

当技士会は、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適切な実施に必要な専門知識並びにその能力の向上に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的に平成３年７月に設立されました。現在の会員数は、正会員1,305名、賛助会員136社となっており、技術力の向上を図るため、次のような事業をしております。

１　表彰

（１）全国技士会連合会会長表彰の伝達

毎年、全国技士会連合会会長表彰の受賞者である役員、優秀技術者に伝達を行っています。令和５年度は５名が受賞しました。

（２）富山県技士会会長表彰

優秀技術者に該当する会員を表彰しています。令和５年度は９名が受賞しました。

表彰式

２　行政との意見交換会

土木施工の設計・積算や現場の生産性向上ため北陸地方整備局と北陸３県技士会で毎年意見交換会を実施しています。また、富山県土木部及び農林水産部と当県技士会で毎年意見交換会も実施しています。

富山県土木部との意見交換会

３　技術検討会

「良質なものづくり」と「工事現場の生産性向上」を図る目的で適正な施工確保のための「技術検討会」を毎年開催しています。

検討会では国土交通省と富山県の担当官を講師に迎え、工事品質向上のポイントや建設現場におけるDXなど、施工現場で必要な専門知識や技術習得の機会として開催しています。

技術検討会

４　講習会等

県建設業協会や関係団体と共催で労働安全等の研修会、農林関係技術研修会、BIM/CIMの講習会、３Dモデル作成CAD講座、情報共有システム研修会等を開催し会員の知識や資質の向上に寄与している。（CPDS対象）

活動報告 石川県土木施工管理技士会

会長　鶴山 庄市　　事務局長　地中　浩

〒921 － 8036　石川県金沢市弥生２丁目１番23号
TEL　代表076 － 242 － 1161　　FAX　076 － 241 － 1161

当技士会は、土木技術者の技術力や社会的地位の向上、現場の施工や施工管理技術の向上を図ることを目的として、様々な活動を行っており、現在の会員数は1,429名、賛助会員142社で構成されています。

主な活動内容は以下のとおりです。

１　表彰

毎年、全国土木施工管理技士会連合会の表彰規定に基づく表彰者を、当技士会通常総会にて伝達表彰式を行っています。令和５年度は、技士会役員２名、優良工事従事技術者３名が受賞しました。

２　発注機関との意見交換会

毎年、発注機関の北陸地方整備局と北陸三県技士会（石川、富山、新潟）との意見交換会を行っており、今年３月開催の意見交換会では、土木施工管理技士が課題としている工期途中での交代の在り方や更なる工事書類の簡素化をはじめ、現場技術者の働き方改革などについて議論を行った。

３　講演会

例年、通常総会時に講演会を実施しており、これまでに北陸地方整備局や石川労働局、県土木部、県警察本部や民間から講師を招いて、会員の知識習得を目的に開催しており、本年度は公共工事執行における留意点や安全管理などについて講演を行った。

４　講習会等

（１）当技士会主催・共催の講習会

令和４年度は、石川県建設業協会と共催してCPDS認定講習会62回（募集人員1,376名）を開催した。また、当技士会開催のJCMセミナーではオンライン方式を取り入れたセミナーを数多く開催し、145名が受講した。

（２）現場視察・研修会

当技士会会員の技術力向上を目的に毎年現場研修会を開催し、これまでにダム事業の現場や港湾施設の老朽化対策及び液状化対策の現場を視察し、トンネル工事の現場では、CIMを活用した最新技術を学んだ。昨年度は、大阪・関西万博の会場予定地のインフラ整備状況の視察を行ったが、本年度は世界最長のつり橋、明石海峡大橋の視察を計画している。

通常総会・講演会

現場研修会

活動報告 福井県土木施工管理技士会

会長　関　　剛摩　　事務局長　大川　淳一郎

〒910 － 0854　福井県福井市御幸３－ 10 － 15（福井県建設会館１階）
TEL　0776 － 24 － 1184　　FAX　0776 － 27 － 3003
URL　http://www.fukui-pbcs.or.jp/doboku/doboku.php

当技士会は土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図ることにより良質な社会資本の整備に貢献し、もって国民生活の向上に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いた活動をしております。

活動の内容は、以下のとおりです。

１　表彰

毎年、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会表彰規程に該当する会員を表彰している。令和４年度は、優良工事従事技術者表彰で４名が受賞した。

２　福井県との意見交換会

今後の円滑な公共事業推進につなげることを目的として、福井県の公共工事における現場施工上の技術的諸問題、疑問点、課題等について、福井県職員と会員が毎年意見交換を行っている。

３　現地研修会

会員の技術力向上を目的に、毎年県内で国や福井県等が発注している工事現場を視察し、現場職員から事業の概要や工事施工上特に注意を払っている事項及び技術的に特出している事項等の説明を受けるなど、現場での研修を行っている。

４　講習会

（１）当技士会が主催・共催する講習会

当技士会が主催、共催等により開催する講習会（CPDS対象事業）は、年間平均約30回開催している。なお、令和４年度は32回開催し、延べ856名が受講した。

（２）監理技術者講習会及び JCM 講習会

一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会が主催する「監理技術者講習会」を毎年２回開催しており、一事業として定着化している。

「JCM講習会」も、各種セミナーを毎年開催し、土木施工管理技士の技術力の向上、自己研鑽の活動を支援している。

ドローン実技研修

i-construction対策セミナー

活動報告 山梨県土木施工管理技士会

会　長　小林正紀　　事務局長　飯野　敏

〒400 － 0031　山梨県甲府市丸の内１丁目 13 － 7
TEL　055 － 235 － 4421　　FAX　055 － 233 － 9572
URL　http://www.y-kenkyo.or.jp/gishikai/

１　講習会・研修会

技術力維持向上を目的に、毎年、資格取得、施工技術、施工管理、積算、見積もり業務等に関する講習会を開催している。

〈令和４年度実施状況〉

・１級土木施工管理技術検定（一次）受験準備講習会　受講者16名
・１級土木施工管理技術検定（二次）受験準備講習会　受講者15名
・２級土木施工管理技術検定　受験準備講習会　受講者20名
・現場代理人スキルアップ講習会　受講者54名
・土木工事実行予算作成実務講習会　受講者53名

２　現場研修会

毎年、県内外の大型プロジェクト工事を見学し、情報収集することにより、当技士会に所属する技術者の技術力向上を図り、見聞を広めると同時に会員相互の技術情報交換の場としている。

〈令和元年度見学先〉

「東京外環プロジェクト」関連建設現場

発注：国土交通省、東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱共同管理　参加者：15名

３　監理技術者講習会・CPDS への取り組み

技士会連合会が主催する監理技術者講習会の運営等を支援、協力している。

技術講習会（現場代理人研修）

令和４年度は４回開催し、受講者数は延べ84名

また全国技士会が運営･実施するCPDS制度の普及・啓発及び会員向けの窓口として取り組み

４　土木施工管理技士の PR

土木施工管理技士の魅力をPRするために、現場で働く若い技術者(男性・女性)にそれぞれスポットを当てて、動画を撮影して「YouTube」に載せたり各地区から１名ずつ選抜された技術者をモデルとしたポスターを作成して、関係各所に配付して掲示を依頼したりした。

◆「建設女子に聞いてみた！」(動画８分)
◆女性版ポスター　令和２年度に作成
◇男性版ポスター　平成28年度に作成
◇男性モデル版動画とポスター　令和３～４年度

⬆動画の
QRコードはこちら

土木施工管理技士
PRポスター

５　表彰

・技士会連合会会長表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づく会長表彰、監事・理事表彰、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、令和４年度受賞者は３人。

６　その他

土木施工管理技術等に関する各種専門図書を整備して会員に対し無料貸出ししている。

活動報告 長野県土木施工管理技士会

会長　野島　登　　事務局長　水口　森隆

〒380 － 0824　長野県長野市南石堂町 1230　長建ビル内
TEL　代表 026 － 228 － 7200　　FAX　026 － 224 － 3061
URL　https://www.choken.or.jp/ejcm

長野県技士会は、昭和60年設立以来、技術者としての原点に立ち「安全で・良質で・早く・しかも経済的に」を目標とし、全国土木施工管理技士会連合会と連携し、（一社）長野県建設業協会と協調を図りつつ、会員の技術力の維持及び向上のため諸事業を実施しています。

主な事業の内容は以下に記載のとおりです。

1　技士会連合会会長表彰・長野県土木施工管理技士会会長表彰

長野県技士会では、技士会連合会会長表彰規程に基き、毎年役員表彰及び優良工事受賞技術者の推薦をし、受賞をうけています。

また、毎年各支部よりの推薦により、「本会の役員としてその功績顕著な会員」、「技術の向上又は会員の地位向上に功績のあった会員」を長野県技士会長表彰として例年総会において表彰しています。

2　現場技術研修会・技術者セミナー

会員の技術力の維持向上を図ることを目的として、長野県技士会では本部及び各支部で技術研修会を開催しています。令和４年度には、技士会本部主催の現場技術研修会を２回開催し、合計74名の参加がありました。

その他、会員の専門技術力アップのため、発注機関の協力の基に技術者セミナーの開催をはじめとして、土木専門技術研修等の講習会を、主催また共催により毎年数多く実施しています。

現場技術研修会

3　行政機関との意見交換会

長野県技士会では毎年技士会の主催により各支部会員の意見を基に、長野県との意見交換会を実施しています。

またこの他、各支部においても毎年長野県現地機関との意見交換会などを実施しています。

意見交換会

4　会報の発行

長野県技士会では、毎年年度末に「技士会報」を発行してきましたが、令和３年版からはリニューアルして、カラー写真をふんだんに使ったよりビジュアルなものを発行し、会員の現場紹介や技術的な話題などを提供しています。また、ホームページへも掲載していますので、ご覧ください。

5　会員入会条件の拡大

令和４年度より、会員加入要件について技士補の設定及び以前から要望があった建築や建設機械、造園など、土木につながりの深い分野の資格についても加入要件を拡大する会則の改正を行って、会員の拡大を図っています。

活動報告 岐阜県土木施工管理技士会

会長　前田　守廣　　事務局長　原　義人

〒500 － 8502　岐阜県岐阜市薮田東１－２－２
TEL　代表 058 － 273 － 3344　　FAX　058 － 273 － 3138

当技士会は平成４年３月に設立以来、優れた土木工事の施工技術を普及して建設工事の適正な施工を確保するとともに、土木施工管理技士の資質及び社会的地位の向上を図り、会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として、発注機関との意見交換会や研修会や講習会等を主とした活動を行っています。
活動内容は、以下のとおりです。

１．発注機関との意見交換会

毎年、岐阜県県土整備部幹部（部長・土木技監・関係課長等）と現場の諸課題の解決に向けた意見交換会を行っている。
また、東海四県における会長会議を持ち回りで開催し、国土交通省中部地方整備局と当面する課題について意見交換を実施している。

岐阜県との意見交換会

２．講演会・講習会等の開催

（１）講演会の開催

毎年度開催の定時代議員会に岐阜県県土整備部幹部を講師として招き、講演を行っている。

講演会の様子

（２）講習会・研修会の実施

会員の技術レベルの向上のため、技士会主催による技術力アップ講習会や土木施工管理技術検定試験受験準備講習会等を毎年実施している。また、岐阜県建設ＩＣＴ人材育成センターが行う技術者向上研修（年間約30講座）への参加を推奨している。

技術力アップ講習会

３．定時代議員会と表彰

全国土木施工管理技士会表彰規程に基づき、毎年「優良工事技術者」として推薦をし、受賞を受けており、毎年度の定時代議員会にて伝達を行い、披露している。

定時代議員会

優良工事技術者表彰の伝達

活動報告 一般社団法人静岡県土木施工管理技士会

会長　中村　嘉宏　　事務局長　井上　光浩

〒420 － 0851　静岡市葵区黒金町 11 － 7　大樹生命静岡駅前ビル 12 階
TEL　054 － 255 － 0238　　FAX　054 － 255 － 0239　メールアドレス　k-6@sizkk-net.or.jp

当技士会は、任意団体として昭和51年に全国に先駆けて設立（初代中村進会長）されました。その後、昭和63年には県知事の認可を受けて公益法人となり、平成24年からは一般社団法人として活動しています。設立当初から「土木施工管理技士の社会的使命の重要性を認識し、施工技術に関する講習会、研修会等を実施する事により、建設工事の適正な施工の確保及び土木工事の施工技術の向上」に取り組んでいます。

主な活動内容は以下のとおりです。

1．表彰

総会時に以下を表彰している。

（1）技士会連合会会長表彰

（2）静岡県土木施工管理技士会会長表彰＝技士会褒賞として、技術発表会賞・功労賞・県建設業協会賞（建設もの創り大賞）を対象に実施。

2．技術懇談会・意見交換会

（1）国土交通省中部地方整備局県内事務所との技術懇談会＝会員各社に完成工事アンケート調査を依頼し、調査結果を基に意見交換を実施している。

（2）出先行政機関と意見交換＝各地区技士会で、出先行政機関との意見交換を実施している。

3．技術研修会・講習会

（1）静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課・工事検査課との技術研修会＝会員各社に完成工事アンケート調査を依頼し、調査報告書をとりまとめ、発注者の回答を基に研修会を実施している。

（2）技術論文＝各会員に完成工事論文を年２回募集し、技士会連合会に申請・承認されたものを当技士会HPに掲載して広く周知している。

（3）１級、２級土木施工管理技士受験準備講習会＝毎年受験準備講習会を実施し、資格取得に協力している。今年度から１級土木施工管理技士２次検定受験準備講習会を開催している。

（4）工事発表会＝各地区で、優良工事発表会を実施している。優秀発表者は会長表彰している。

4．技術支援

静岡県発注工事のうち設計と現場条件の不一致が理由で入札不調・不落が発生した工事について、不調・不落対策として県からの技術支援要請を受けて技士会の技術者を派遣している。令和４年度から試行を始め、不調・不落物件の問題点（仮設備計画の不整合や現場不一致）について技術的な支援を行っている。

国交省中部地方整備局県内事務所との技術懇談会

土木施工管理技士受験準備講習会

活動報告 愛知県土木施工管理技士会

会長　市川　和邦　　事務局長　横山　英樹

〒461 － 0001　名古屋市東区泉二丁目 11 番 22 号　愛知県土木会館 3 階
TEL　052 － 932 － 0275　　FAX　052 － 932 － 0276
URL　http://www.aidogi.jp

本会は、会員の土木施工管理に関する知識や技能の習得を目的に施工管理技術に関する情報の収集、提供、講習及び研修など各種事業を実施しています。

1　表彰

（1）連合会表彰

総会時に連合会から優秀技術者として表彰された者に表彰状の伝達式を行っています。

（2）愛知県技士会会長表彰

技士の品位、社会的地位及び施工技術の向上について、長年にわたり努力があった者を総会時に表彰しています。

2　講演会

（1）特別講演会

定時総会の終了後、優秀技術者表彰の受賞者を講師に特別講演会を開催しています。

（2）技術講演会

毎年秋に中部地方整備局、愛知県、名古屋市等に講師をお願いし、技術講演会を開催しています。

3　発注者と現場技術者との意見交換会

働き方改革や生産性の向上を主なテーマに中部地方整備局、愛知県、名古屋市と現場技術者との意見交換会を実施しています。

働きたくなる魅力ある職場づくりへの提案、現場で困っていることや改善策などを直接話し合う場として活用しています。

発注者と現場技術者との意見交換会

4　現場見学会と Web 現場見学会

従来の現場見学会に加え、Web会議システムを利用した遠隔臨場による見学会を開催しています。

遠隔臨場はリモートがこれからの手法となることを踏まえ、ICTの活用を促すことを目的に実施しています。

Web現場見学会

5　機関誌の発行

県下のプロジェクトや新技術の紹介などを内容とする機関誌「礎あいち」を毎年発行しています。

6　設立 30 周年記念行事

昨年設立30周年を迎えたことから記念講演会と歴代会長座談会を開催しました。

座談会では、設立当時の苦労話や会員確保のための法人会員制の導入など30年間の歴史が紹介されました。

設立30周年記念講演会

活動報告 三重県土木施工管理技士会

会長　竹上　亀代司　　専務理事　水谷　優兆

〒514 － 0003　三重県津市桜橋二丁目 177 番地の 2
TEL　059 － 224 － 4116

三重県土木施工管理技士会は、土木技術者の品位と社会的地位及び技術力の向上と人材育成のため、研修会、意見交換会の開催、技術者表彰などを行っています。近年は、これらのほか、三重県建設業協会との協働取り組みとして、担い手確保のための工業高校等の出前授業、実習授業や進路担当教諭との交流会等への土木技術者の派遣を重点事業として取り組んでいます。

1．出前授業、交流会等への土木技術者の派遣

（1）出前授業、実習授業

土木建築系工業高校、普通科高校を対象とした出前授業において、建設業の魅力発信や土木技術者の仕事、やりがい等の情報提供を当技士会会員の技術者が行っています。

（2）交流会

普通科高校等の進路担当教諭及び進路アドバイザーとの交流会において体験談の発表、工業高校建築科の女子生徒と女性技術者等の交流会に参加し、建設業の喫緊の課題である若手技術者の確保に取り組んでいます。

2．研修会

（1）技術力向上等研修

IT施工に係る基礎知識及び器機操作の習得等の建設DXに係る研修、公共工事の入札契約や施工管理に関する研修を開催しています。また、建設機械施工管理に関する研修等、当技士会会員の技術向上に取り組んでいます。

（2）若手技術者育成（資格取得）研修

１級土木施工管理技士育成のため資格取得を支援する研修を開催しています。

3．会員表彰

（1）技士会連合会会長表彰

定時代議員会において、技士会連合会表彰規程に基づく優良工事従事者に、表彰状を伝達しています。

（2）三重県土木施工管理技士会表彰

三重県優良工事表彰を受賞した主任技術者若しくは監理技術者に対し、定時代議員会において、三重県土木施工管理技士会表彰を行っています。

活動報告 一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会

会長　澤田　旨巨　　事務局次長　小島　甲喜

〒520 － 0801　滋賀県大津市におの浜一丁目１番18号
TEL　077 － 522 － 3232　　FAX　077 － 522 － 7743
URL　https://www.yumeken.or.jp

当技士会は会員相互の協力によって、建設工事の適切な施工に必要な専門の知識の普及、並びに土木施工管理技士の社会的地位及び能力の向上に努めることにより、滋賀県の社会基盤の整備に貢献し、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

重点的取組み事項

１．土木施工管理技術に関する調査・啓発事業

（１）工事書類の簡素化に関する情報収集及び調査・啓発
（２）各種ガイドラインの情報収集及び啓発
（３）安全対策に関する情報収集及び啓発
（４）環境に配慮した施工事例に関する調査・情報収集及び啓発
（５）工事技術に関する情報収集・提供及び啓発
（６）DXを用いたi-Constructionに関する情報収集及び調査・研究

２．継続学習制度（CPDS）の推進及び研修・講習会の実施

（１）維持管理に関する講習会
（２）現場管理に関する講習会
（３）JCMセミナー
（４）JCM維持管理セミナー
（５）会計検査指摘事項講習会
（６）公共土木工事積算実務講習会
（７）工事施工技術研修会
（８）各支部において実施する現場見学会及び研修・講習会の支援
（９）継続学習制度（CPDS制度）の普及・推進

３．現場の諸課題の改善に関する発注機関への要望活動と会員への周知

（１）滋賀県土木交通部技術管理課等関係機関との意見交換会
（２）近畿地方整備局滋賀３事務所との意見交換会
（３）近畿地方整備局と技士会近畿地区ブロック連絡協議会との意見交換会

４．土木施工管理技士の社会的評価の向上に関する事業

（１）会員加入促進事業の展開
（２）会員の表彰事業
（３）会員による建設業のイメージアップ活動、社会貢献活動への取組
（４）事業活動の会員への周知
（５）女性技術者等を中心とした県内の建設業で働く女性のネットワークの取組
（６）女性の働く環境や社会的地位向上の取組

５．防災・減災、維持補修に関する情報収集及び調査

（１）構造物に関する維持管理、更新に関する工法の調査
（２）防災減災技術に関する工法の調査

６．技術者間の意見交換会を通じてのスキルの底上げ

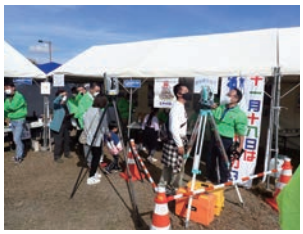
（１）新技術、新工法、環境対策工法の見学会・展示会への参加・見学

７．技士会活動の見える化

（１）Facebook（フェイスブック）による活動の紹介
（２）ホームページの活用
（３）会員の現場紹介等による会員の活躍状況の共有化

８．滋賀県建設産業魅力アップ事業への参画

（１）滋賀けんせつみらいフェスタ２０２３の参加
（２）土木施工管理技士会活動の紹介
（３）最新技術の紹介



活動報告 京都府土木施工管理技士会

会長　吉村　良一　　事務局長　中村　敬二

〒604 － 0944　京都府京都市中京区押小路通柳馬場東入ル橘町 645
TEL　代表 075 － 231 － 4161　　FAX　075 － 251 － 1777
URL　http://www.kyokenkyo.or.jp/dantai/doboku.html

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の社会的地位及び建設工事の適正な実施に必要な専門の知識、並びにその能力の向上に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

活動内容は以下のとおりです。

1　表彰

毎年、技士会連合会表彰規定に基づき会長・理事・監事・職員表彰及び優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお、令和４年度の受賞者は２名。

表彰伝達式

2　近畿地方整備局との意見交換会

毎年、近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会との意見交換会を実施。令和４年度は、国土交通省近畿地方整備局長ほか11名、全国土木施工管理技士会連合会並びに土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会の各府県技士会会長等35名の出席の下で実施した。

3　講習会

（1）技士会が主催する講習会

従来の座学講習会は対面式で毎年２会場で４回開催していたが、コロナ禍で様々な制約を受けて実施が困難となった為、WEBを活用した講習会を実施、その対応は主催者、会員ともに着実に進歩し、会員技術者の知識・技術の向上に努めている。その他にも必要に応じて講習会を実施。令和４年度はCPDS講習会を８回開催し、受講者数は延べ約500名であった。

（2）建設関係団体が主催する講習会

建設関係団体が主催する講習会・講演会等に後援者の立場で協力し、会員に周知を図っている。

CPDS講習会

活動報告 大阪府土木施工管理技士会

会長　奥野 博明　　事務局長　板谷 和範

〒569 － 0034　大阪府高槻市大塚町１丁目14番13号
TEL　代表06 － 669 － 7730　　FAX　06 － 671 － 9565
URL　http://www.osaka-cmea.jp

当技士会は、大阪府地域を中心に土木施工管理技士等の技術力･社会的地位の向上及び土木工事の安全･品質･効率･土木施工管理技術の向上を図ることにより、良質な社会資本の整備に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目的として、平成23年２月に全国で最後に設立しました。令和５年８月末時点の会員数は、個人会員である正会員が845名となっています。なお、当技士会は、民間企業に事務局を置き運営しています。

活動状況は以下のとおりです。

１．講習会

当技士会では、CPDS（継続学習制度）に基づき、会員の専門知識と技術力の習得・向上のための支援活動の一環として、年３回の講習会開催に取り組んでいます。

全国技士会連合会と共催のＪＣＭセミナーや、自主開催によるＤＶＤセミナー、また近畿地方整備局の出前講座を活用したスキルアップセミナー等を開催しています。

JCMセミナー

２．近畿地方整備局との意見交換会

近畿地区ブロック協議会（福井、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、大阪の７府県）では、近畿地方整備局との意見交換会を毎年実施しています。

令和２、３年度は新型コロナウイルス感染拡大状況により書面開催となりましたが、令和４年度は３年ぶりに対面形式で開催され、近畿地方整備局長ほか10名、全国土木施工管理技士会連合会並びに土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会の各府県技士会会長等35名が出席し、各府県技士会提案議題について意見交換を行いました。

３．今後に向けて

建設業は高齢化や人材不足が進む中で、次世代を担う若手技術者を育成するためには、賃金水準の向上や休日の拡大等の働き方改革を進めていくことが重要な課題となっています。

当技士会も、その一端を担うべく、若手技術者の確保・育成につながる講習会を企画、開催し、会員の技術力と社会的地位の向上を目指して活動し、2025年に開催される大阪・関西万博に貢献できるよう努めていきたいと考えています。

活動報告 兵庫県土木施工管理技士会

会長　三木　健義　　副会長　松田　好生・田村　勇人・藤井　良啓
専務理事　山田　聖一　　事務局長　西川　俊信

〒651－2277　兵庫県神戸市西区美賀多台１－１－２（一社）兵庫県建設業協会内
TEL　078－997－2308　　FAX　078－997－2307　URL　https:// hyokenkyo.or.jp/doboku

当技士会は、会員の品格と社会的地位の向上、及び施工技術（建設工事）を適正に実施するため、必要な専門的知識及び技術力の確保と向上に努め、会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的として、技術研修会の開催等に重点をおいて活動しています。

設立　昭和53年９月22日
会員数2,272人　法人会員232社（R5.3末）

１　表彰（技士会連合会会長表彰）

毎年、全国土木施工管理技士会連合会規程に基づき、会長表彰、理事・監事表彰、優良工事従事者に該当する会員の表彰を通常総会時に伝達している。

２　関係機関との意見交換会

会員の社会的地位の向上と行政機関への改善・要望事項等申し入れのため、国土交通省近畿地方整備局との意見交換会を毎年、近畿ブロック２府５県の土木技士会と合同で実施している。

兵庫県土木部とは当技士会単独で毎年、現場の施工管理等における具体的な課題、改善・要望事項等について意見交換会を実施している。

３　技術研修会

会員の技術力向上を目的に、広大な県内に広く分布する会員の参加利便性、負担軽減等にも配慮し、（一社）兵庫県建設業協会各支部、三田建設技能研修センターとも連携の上、多様なメニューによるCPDS認定講習会の開催、受講費の助成等を行っている。

（１）技術研修会、出前講習会の開催
（２）JCMセミナー、DVDセミナーの開催
（３）提携機関における講習受講費の助成
（４）eラーニング受講費の助成
（５）オンラインライブセミナー受講費の助成

４　現場研修会

会員の施工技術の向上を目的に、道路、トンネル、河川、ダム、橋梁など施工中の現場で新技術の取得に努めている。（コロナ禍で令和３～４年度は開催を見送っている。）

活動報告 奈良県土木施工管理技士会

会長　山辺元康　　専務理事兼事務局長　藤澤猛久

〒630 － 8241　奈良県奈良市高天町５－１
TEL　代表 0742 － 22 － 3338　　FAX　0742 － 23 － 9121
URL　http://www.nakenkyo.or.jp/

本会は、会員相互の協力によって建設工事の専門知識の普及、並びに土木施工管理技士の社会的地位及び品位の向上を図り、建設技術水準の発展に寄与することを目的とし、（一社）奈良県建設業協会が母体となり講習会等の開催に重点を置いて活動をしております。

主な活動の内容は以下のとおりです。

１．行政側との意見交換会

毎年近畿地方整備局及び奈良県と建設業協会との意見交換会を開催。
行政との意見交換を行っており、現場の環境改善や技術者の確保・育成等について要望等を行っている。

２．講習会の開催

会員の技術力維持･向上に関する事業として、全国技士会連合会のCPDS学習プログラム認定を受けた講習会を開催。

【直近の講習会開催実績】

「ICT施工に関する講習会」

参加人数31名

「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育（建災防共催）」

参加72名（３開催計）

ICT施工に関する講習会

３．安全衛生現場パトロールの実施

現場における労働災害の絶滅と安全衛生環境の向上に向け、分会単位で実施している現場パトロールに建災防と連動し、参加している。

今後の活動目標として、行政と連携したパトロールを実施し、技士や技術者の目を通して災害によるインフラ崩壊の恐れがある箇所を重点的にチェックし、災害を未然に防げる体制を確立するよう現在調整している。

【令和４年度パトロール開催実績】

参加87名（６開催計）

４．会員状況（令和５年４月１日現在）

１級土木施工管理技士	588名
２級土木施工管理技士	131名
その他	16名
合計	735名

ICT施工に関する講習会

活動報告 和歌山県土木施工管理技士会

会長　仲　修美　　事務局長　栗山　重信

〒640－8262　和歌山市湊通丁北１丁目１－８
TEL　073－436－5611　　FAX　073－436－2567
URL　https://www.wakenkyo.or.jp/

当技士会は県内の土木施工管理技士の技術力向上を図るとともに、会員相互に情報交換をする機会を設け、切磋琢磨することで県内インフラ整備の一助に繋げることを目的としています。

主な活動内容は以下の通りです。

１．表彰

技士会連合会表彰規定に基づき、該当する会員の表彰を通常総会で伝達しています。

２．行政との意見交換会

近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会との意見交換会を毎年実施し、現場から沸き上がった要望や提案をもとに意見交換を行っています。

３．現場研修会

令和４年度は三年振りに現場研修会を実施しました。ＮＥＸＣＯ中日本道路さまの協力をいただき、神奈川県秦野市や足柄上郡山北町等で進めている新東名高速道路の橋脚やトンネル工事建設現場を視察しました。

４．講習会の開催

コロナ禍を契機に「Zoom」を活用したCPDS認定オンラインセミナーを開始、継続実施中です。

５．ｅラーニングの提供

①和歌山県県土整備部さまの協力をいただき、会員に限定しCPDS認定のeラーニングを提供しています。

②ワイズさまと連携し優遇価格でeラーニング利用、CPDS単位が取得できるようにしています。

６．会員状況

	2012年度末	2022年度末
会員数	1,368名	1,666名
CPDS加入者数	1,184名	1,614名

業界全体では若手人材の確保に苦慮していますが、会員様のご協力のもと、技術者の育成は順調に進んでいます。

活動報告 一般社団法人鳥取県土木施工管理技士会

会長　影井一清　　専務理事　米谷浩一

〒680－0022　鳥取市西町２丁目310　鳥取県建設会館内
TEL　0857－24－2281　　FAX　0857－24－2283
URL　https://www.tori-gisi.or.jp/dd.aspx

本会は、昭和61年５月設立、翌２月鳥取県知事から社団法人の認可、同年全国土木施工管理技士会へ加入、平成25年４月に一般社団法人鳥取県土木施工管理技士会として、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、公共の福祉に寄与することを目的に活動しています。今年度から土木施工管理技士補の入会も認めています。

１．研修・講習会の実施

（１）鳥取県の格付における加点研修の実施
（年５講習10日実施）
（２）１・２級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会の実施（各３日間）
（３）監理技術者講習への協力（年３回３会場）
（４）CPDS制度の推進（会員の学習履歴登録及び学習履歴証明書の発行業務）
（５）土木施工管理技士資格取得講習会補助金交付（１級土木施工管理技士を取得するために当会準備講習会を受講し、県の助成対象外の会員に助成金３万円を交付
11名）

技術研修会

２．土木施工管理技術に関する調査・研究

（１）土木工事現場視察（各地区技士会が実施）

３．表彰事業

（１）全国技士会連合会会長表彰への推薦
（令和４年度　優秀技術者４名）
（２）鳥取県技士会会長表彰（令和４年度55名受賞）（国・県の優良工事担当技術者を表彰）

４．行政庁との意見交換及び交流会

（１）中国技士会連合会及び行政庁との意見交換会
（中国地方整備局長、中国各県土木関係部長他、中国各技士会会長・副会長出席）
（２）他県女性技術者との交流会の実施
（３）鳥取県内各県土整備局と各地区技士会との意見交換会

５．令和４年度第 33 回建設技術発表会の開催

（発表者：技士会会員、国土交通省、鳥取県、建設技術センター）

技術研修会

６．土木施工管理技術の情報収集及び情報提供

ホームページを活用した、迅速な情報提供とメール配信サービス

７．会員状況

正会員1,578名　227社（R ５．３.31現在）

活動報告 島根県土木施工管理技士会

会長　原　諭　　専務理事　山岡　雄二　　事務局長　上田　剛史

〒690－0048　島根県松江市西嫁島一丁目３番１７号
TEL　0852－21－9004　　FAX　0852－31－2166

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ建設工事を適切に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的として活動しています。

1　表彰

島根県技士会表彰規程により、推薦のあった技術者を毎年表彰しています。令和５年度は21名が受賞。県技士会表彰者からさらに５名を選出し全国技士会の表彰へ推薦し、表彰を受けています。

2　現場見学会

毎年定期的に現場見学会を実施しています。県内の大規模工事現場を中心に100名を超える規模で開催しています。最近では、現在建設が進む、山陰自動車道の建設工事現場を中心に見学しています。

3　ASP 体験研修会

令和２年度より、生産性の向上を目的に、受発注者双方が参加し、直接体験する研修会を開催しています。

これまで会員、県・市町村職員あわせて延400名が参加しています。

4　創立 30 周年記念事業

新型コロナの影響で１年遅れの令和４年度に創立30周年事業を実施しました。

①式典

令和４年７月29日　ホテル一畑

②土木施工管理技士 PR 動画の制作

・テレビ放映
・DVD制作（460枚）
・　〃　配付（県内高校、高専他）
・　〃　知事贈呈

土木施工管理技士ＰＲ動画

アドレス・QRコード

https://www.youtube.com/watch?v=f-５AYDqjoJU

活動報告 岡山県土木施工管理技士会

会長　池田　明繁　　事務局長　山﨑　博美

〒700 － 0827　岡山県岡山市北区平和町５－ 10　岡山建設会館３階
TEL　代表 086 － 225 － 1250　　FAX　086 － 225 － 1251
URL　https://gishi-okayama.jp

当技士会は、今年設立32年を迎えました。平成31年に事務局を独立後は岡山県建設業協会等と連携し、技術者の社会的地位向上並びに技術力向上に資する活動を行っています。活動内容は下記のとおりです。

１　表彰

（１）優良技術者表彰

当会表彰規程に該当し、優良技術者として会員より推薦された候補者を審査のうえ、当会通常総会で表彰している。令和５年度は７名

（２）連合会会長表彰

毎年、優良技術者表彰候補者から連合会会長表彰第４条第２項に該当する会員を推薦、当会通常総会で表彰伝達を行っている。令和５年度は４名

（３）連合会技術論文・技術報告

毎年、連合会主催の技術論文・技術報告へ応募し、当会通常総会で入賞者の表彰伝達および受賞者の基調講演を行っている。令和５年度は技術報告特別賞１名

２　講習会

（１）技術講習会

CPDS対象技術講習会を会場・オンラインのハイブリッド方式により開催している。令和５年度は６回開催

（２）i-Construction・BIM/CIM セミナー

毎年、働き方改革に資するICT施工やBIM/CIM活用をテーマとしたセミナーを入門編から発展編までレベル別に開催している。令和５年度は、パソコンをリースしての「３次元CADトレンドコア実地研修」のほか県内３会場で「導入のための第一歩」として入門編を開催

（３）監理技術者講習

当会会員の講師が登壇。令和５年度は年４回開催

３　相談員制度

この制度は、工事内容の変更が必要となった場合に、施工に必要な費用や工期が適切に確保されるよう、小規模企業等、工事受注後の設計変更協議や変更契約手続きを熟知していない岡山県建設業協会員に対して、相談員が、迅速かつ的確な助言を行う制度。当会は、技術者により近い立場であることから相談員の推薦及び相談員制度事務局業務を行っている。

岡山県 OKAYAMA FEDERATION OF CONSTRUCTION MANAGEMENT ENGINEERS ASSOCIATIONS
土木施工管理技士会

活動報告 広島県土木施工管理技士会

会長　加藤　修司　　事務局長　延藤　照章

〒730 － 0013　広島県広島市中区八丁堀 11 － 28　朝日広告ビル 5 階
TEL　082 － 223 － 4311　　FAX　082 － 221 － 7898
URL　https://www.hirokenkyou.jp/gishi/

広島県土木施工管理技士会は、平成４年に設立され、発足当初1,808名であった会員は、現在では 3,515名に至っている。当技士会の13支部と連携して次のとおり技士会活動を実施している。

１　表彰

（１）全国土木施工管理技士会連合会会長表彰

技士会連合会から表彰を受けた者に対して、当技士会の総会において連合会会長表彰の伝達を行っている。令和４年度の伝達者は12名。

（２）広島県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会員等表彰規定に定める表彰基準（永年功労等）に該当する会員を表彰している。令和４年度の表彰者は68名。

２　行政庁との意見交換会

中国土木施工管理技士会連合会を通して行政庁との意見交換会を実施している。令和５年度は中国地方整備局11名、中国各県土木関係部局５名、技士会連合会２名、中国各県技士会の会長等29名の出席の下で実施した。

３　講演会

当技士会の総会において行政庁に講師を依頼して講演会を実施している。令和５年度は中国地方整備局の幹部職員による講演会を実施した。演題は「中国地方整備局の最近の話題」。

４　講習会

（１）当技士会が主催する講習会

県内５会場において、同一演題、同一講師によるCPDS認定講習会を実施している。令和４年度は技士会連合会発行の「指定技術講習用テキストⅡ」により実施し、受講者743名。

（２）各支部が主催する講習会

当技士会の13支部において、各支部が選定した演題、講師により講習会を実施している。令和４年度は延べ26回実施、受講者807名。

（３）技士会連合会が主催する講習会への協力

監理技術者講習、JCMセミナー、同DVD講習会、同特別講習会など技士会連合会が主催する講習会の広島開催に対し積極的に協力している。令和４年度は監理技術者講習を６回実施、受講者394名。JCM講習会は３回実施、受講者185名。

活動報告 山口県土木施工管理技士会

会長　勝井　勝　　副会長　秋山　貴文、江村　公佑
専務理事　藤山 泰司　　事務局　中西　利雄

〒753－0074　山口市中央４丁目５－１６（山口県商工会館４階）
TEL　083－922－2633　　FAX　083－923－7101　　E-mail y-gishikai.35@yamaken.or.jp

１　概要

当技士会は、平成３年２月に設立され、本年で33年目となりました。この間、土木施工管理技士の社会的地位の向上や技術力の向上を目的とした各種事業への取り組みを進め、令和４年度末現在の会員数は2,584名です。

平成11年度から、当会会員への表彰制度を創設し国・県の優良工事表彰などの工事に技術職員として従事された会員や技術振興等に功績のあった会員に対し、毎年通常総会において表彰を行い、表彰受賞者数も累計491名となっている。

２　技術講習会

当技士会では、会員の計画的な技術力の維持・向上の学習の場として、「継続的学習制度(CPDS)」に対する取り組みを基幹的事業と位置づけ、平成14年度から「CPDS指定技術講習会」を開設、平成22年度からは「CPDS特別技術講習会」を開設、また各支部においても独自の講習会を開設するなど、会員に学習の場を提供している。

昨年度も本会主催或いは共同開催の技術講習会では多くの受講者を迎えている。
また、全国技士会連合会主催の監理技術者講習について、年２回開催支援している。

通常総会・表彰式

３　委員会及び発注者との意見交換会

企画運営・技術合同委員会を開催し、各委員の意見や講習会での会員アンケートの意見などを集約協議して技士会の業務運営や会員の技術向上に反映するとともに、これらの意見を取りまとめ、毎年「県土木建築部技術管理課との意見交換会」を開催している。

現場における諸課題に対して受注者と発注者がともに意見交換することで、官民一体となって問題解決に取り組んでいる。

この意見交換会の結果を会員に周知することにより、日々の業務の参考に資することとしている。

４　その他

今後も引き続き上記の主要事業の実施に加え、コンクリート構造物の品質確保に関する取り組みや公共工事の労働安全に関する取り組みなど、国・県などの関係機関と連携しながら、これら各種の事業を通じて、会員の技術力の維持・向上に努めることとしている。

また、ホームページを通じて会員へ各種情報の発信を行うこととしている。

技術講習会

活動報告 徳島県土木施工管理技士会

会長　岡村純夫　　事務局長　小島祥圓

〒770 － 0931　徳島県徳島市富田浜２－ 10
TEL　代表 088 － 622 － 3113　　FAX　088 － 652 － 7609

当技士会は、会員の専門的な技術力や知識の向上、若い人の資格取得支援を目的とした講習会を開催するとともに、技士の社会的地位向上のための活動などに取り組んでいます。

主な活動内容は以下のとおりです。

１　講習会の開催

（１）徳島県技士会の開催する講習会

土木施工管理技士の技術の研鑽、知識の向上を目的として、徳島県建設業協会や徳島県建設産業団体連合会との連携により講習会を開催しています。

近年は、建設現場の生産性向上を目的としたi-ConstructionやインフラDXの推進に資する講習会を積極的に開催し、技士のICTに関する知識の向上等に努めています。

また、公共工事に携わる者としてコンプライアンスの遵守は重要かつ必然の要素であることから、建設業の適正取引に関する講習会などにも取り組んでいます。

（２）検定試験受験準備講習会の開催

持続的に良質な社会インフラの整備・維持を続けていくためは、業界の将来を担う技士の確保・育成は喫緊の課題であることから、徳島県等との連携により、土木施工管理技士資格取得支援のための「受験準備講習会（１級、２級）」を実施しています。

（３）四国技士会連合会主催の講習会

発注側講師による講習として「四国４県統一テーマ講習会」（午前各県毎の講習、午後四国地方整備局講師の四国共通講習）を年１回開催しています。

（４）監理技術者講習

全国土木施工管理技士会連合会の監理技術者講習を年２回実施しています。

２　発注者との意見交換会

建設工事の施工を担当する技術者と四国地方整備局徳島河川国道事務所との意見交換会を実施し、公共工事の入札、契約制度、施工等における諸問題等について協議を行っています。

また、四国土木施工管理技士会において年１回、発注機関との意見交換会を実施し、四国地方整備局長ほか、県幹部が出席し各県技士会長等で意見交換を行っています。

建産連主催の意見交換会に参加し、徳島県県土整備部に対して技士目線、現場目線からの要望を伝えています。

３　調査研究

四国土木施工管理技士会連合会として、監理技術者等にアンケート調査を実施し、書類の簡素化や働き方改革の現状について把握し、発注者への要望事項の参考資料とするなど、技士の処遇改善等に努めています。

活動報告 香川県土木施工管理技士会

会長　朝倉　一郎　　専務理事　河井　淳　　事務局長　石川　卓

〒760 － 0026　香川県高松市磨屋町６番地４　香川県建設会館２階
TEL　代表 087 － 851 － 7919　　FAX　087 － 821 － 4079
URL　https://www.kaken-honbu.or.jp

１　概要

当技士会は会員相互の協力によって土木施工管理技士の社会的地位の向上を目ざし、かつ建設工事を適正に施工するために必要な専門知識およびその能力の習得に努め、もって会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、活動しております。

各種講習会の開催や深刻な技術者不足解消のため、土木施工管理技士の処遇改善等について国土交通省や香川県への要望活動を継続的に実施しております。

２　優良技術者表彰

会員の意欲増進や地位の向上、また若年女性技術者の定着促進のため、四国地方整備局の表彰において優良工事を担当した技術者や優秀建設技術者表彰を受賞された技術者、また香川県の表彰において優良建設工事を担当した技術者や若年・女性優良建設技術者表彰受賞者を対象に、香川県土木施工管理技士会会長表彰を授与しております。

定時総会において表彰状授与式を執り行っております。

３　各種講習会の開催

建設業の技術者不足が喫緊の課題となっており、インフラの老朽化等益々技術者の社会に対する重要度が高まる中、他業界への人材流出を防ぐために、土木施工管理技士の資格取得を支援することを目的として、1級土木施工管理技術者検定第１次検定対策講習会及び2級土木施工管理技術検定試験対策講習会を開催しております。

また、四国土木施工管理技士会連合会と共催で四国地方整備局及び香川県土木部より講師を招いて、技術者の技術力の向上を図るために土木施工管理技術講習会を開催し、技術者の最新知識の習得に寄与しております。

４　最後に

今後も香川県土木施工管理技士会では、土木施工管理技士の社会的地位向上や働き方改革等の現場技術者の処遇改善、若年・女性技術者の入職、定着促進のために国及び地方自治体への要望活動や、技術力向上のための講習会等を継続的かつ積極的に行ってまいります。

会長表彰授与風景

講習会風景

活動報告 愛媛県土木施工管理技士会

会長　浅田　春雄　　事務局長　山下　勝徳

〒790 － 0002　愛媛県松山市二番町４丁目４－４　愛媛県建設会館４階
TEL　代表089 － 931 － 7881　　FAX　089 － 931 － 7893
URL　https://www.himegisi.com

当技士会は、土木施工管理技士の技術力や社会的地位の向上を目的として、昭和56年５月18日に設立し、５年７月時点での会員数は3,371名、県内13支部と連携して各種事業への取り組みを進めております。

１　愛媛県技士会会長表彰

国や県が実施している優良建設工事表彰の受賞者および受賞工事の現場責任技術者の表彰を行っており、４年度の受賞者は48名（対象者は会員のみ）。なお、全国技士会連合会表彰者の推薦及び表彰者への表彰伝達も行っている。

２　発注機関との意見交換会

四国４県の技士会で構成する四国土木施工管理技士会連合会において、四国地方整備局および四国各県土木部等との意見交換会を実施している。

３　講習会

（１）土木施工管理検定試験受験準備講習会

技術者の育成や確保を目的に、技士資格取得のための１級・２級の受験準備講習会を開催している。平成27年度に創設された県の受講料への補助制度などの後押しを受け、鋭意取り組んでおり、受講者の検定合格率は全国平均を上回る結果となっている。４年度は 合計237名が受講している。

（２）愛媛県技士会主催の講習会

土木施工管理技士に必要な知識の習得のため、県（土木部等）、大学、県技術職員OB等の協力を得て土木施工管理技術講習会を行い、４年度は、４回実施し、合計500名が受講している。

（３）監理技術者講習

愛媛県内での監理技術者講習（主催：全国技士会連合会）の開催協力を行っている

（４）JCM セミナー等、

全国技士会連合会との共催により、JCMセミナー、維持管理セミナー、DVDセミナー等を開催しているほか、四国４県の技士会で、統一のテーマのもと、四国地方整備局幹部を講師として講習会を開催している。

４　その他の活動

下記の他団体が主催する建設に関する協議会等の活動に参画している。

・えひめ建設技術防災連携研究会(愛媛大学主催)
・愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会（愛媛大学主催）
・愛媛県ICT活用工事支援協議会（愛媛県主催）
・工事関係書類等の適正化検討WG（四国地方整備局主催…四国連合会）

講習会状況

四国地方整備局・各県土木部等との意見交換会

活動報告 公益社団法人高知県土木施工管理技士会

会長　田邊　聖　　事務局長　佐々木　武

〒780 － 0870　高知市本町４丁目２－１５高知県建設会館２階
TEL　088 － 825 － 1844　　FAX　088 － 825 － 1848
URL　http://www.kochigisi.or.jp

【技士会概要・活動状況】

当技士会は、会長１名、副会長４名、理事９名、監事２名で構成されています。

会員数は、個人会員である正会員が2,294名、賛助会員が377名、賛助団体が278社であります。（令和５年７月31日時点）

今年度の活動としては、５回の監理技術者講習（法定講習）に加え、３会場計５回の技術者講習、コンクリート出来栄え研修、ICT講習会など、土木技術者からのニーズに応え、更なる技術力向上につながるよう実施しております。さらに５回の技術講習会受講者（約500名）に対して平成30年から毎年アンケート調査を実施し、職場環境・福利厚生・書類簡素化等のデーターを集計・分析し、発注団体との意見交換資料として活用するなど技術者の環境改善にも取り組んでおります。

また近年、女性土木技術者が増加傾向にあるもののまだまだ少なく、１つの企業・職場に女性が一人といったケースも少なくありません。そこで女性土木技術者の企業間を超えたネットワークが必要と考え、当技士会では女性技術者に賛同を募り、女性技術者からなる「KDJ」（高知土木女子）を2019年に設立しました。現在36名の女性土木技術者団体となり、定期的にランチ会での意見交換会や現場視察・パトロールなどを行っております。

【今後に向けて】

現在、土木業界での若手人材不足は深刻な問題であり、当団体のアンケート調査でも、職場で不安に感じることの最も多かった意見が“若手人材不足・技術者不足”であります。当技士会は６年前より小学生に向けた「どぼく出前授業」を実施し、更に昨年からは高知県土木部とタッグを組み、工業高校土木系の入学定員割れである地域の中学校や大学進学校などを対象とし、土木のイメージアップと、将来の職業選択肢の一つとして身近に感じてもらえるよう、出前授業を実施しております。今後におきましても、この「種まき作業」がいずれ実となり、この業界がさらに活性化されるよう、取り組んでまいります。

また、土木技術者に対しましても、引き続き技術力の維持・向上と社会的地位向上の為に努めてまいりたいと考えております。

活動報告 福岡県土木施工管理技士会

会長　西原　幸作

〒812 － 0014　福岡市博多区千代４－ 29 － 8　福岡県土木会館
TEL　092 － 632 － 7948　　FAX　092 － 632 － 7950

当技士会は、土木施工管理技士としての資質の向上を図り、建設工事の施工に必要な専門知識や技術及び能力を高め、優良な社会資本の整備構築に寄与することを目的に活動しております。

１　行政側との意見交換会

毎年福岡県県土整備部との意見交換会を実施しております。建設業界の働き方改革、生産性向上等を実現させるための様々な施策の中での建設業の問題点、技術者の役割等について相互の立場の理解を深め適正な工事が実施できるよう協力要望等しております。

２　講習会

土木施工管理技士を取得している技術者に対して、施工、原価、品質等の現場管理等や検査や工事成績評点対策等の実務に即した講習会を毎年実施し、継続学習を目的に会員に対して専門知識や技術力向上を図っておるところです。昨年は「工事成績、コンクリートの施工管理、現場代理人のマネージメント他」等の講習会を実施しました。

又昨年は２回、全国土木施工管理技士会連合会と共催でＪＣＭ講習会を実施しました。

その他、国、県、関係財団法人等主催の講習会について、後援、共催し、会員団体に開催案内をしております。

３　現場研修会

福岡県における大型プロジェクト等の工事について（主に県、国発注工事）毎年現場での研修会を実施しており、これまでに五ケ山ダム、九州北部豪雨災害復旧事業等の現地研修を実施いたしました。

令和２年～４年までは、コロナ禍で中止しており、令和５年に北部九州豪雨災害の復旧・復興に関する現場研修を企画しておりましたが７月の豪雨により再度被災し中止となりました。今後も現場研修を実施する中で、さらに技術力の向上に努めていきたいと思います。

４　表彰

全国土木施工管理技士会連合会会長表彰を連合会規定に基づき優良工事従事者、理事等の該当者の表彰を実施。合わせて福岡県技士会からは副賞を授与しています。

活動報告 佐賀県土木施工管理技士会

会長　森永　浩通　　事務局長　島内　俊幸

〒840 － 0041　佐賀県佐賀市城内二丁目２番３７号
TEL　代表 0952 － 23 － 3117　　FAX　0952 － 24 － 9751

１　発足

当技士会は、平成4年４月に発足し、会員相互の協力によって技士の品位と社会的地位の向上を目指し、また建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及び能力の取得に努めています。

２　定期総会

毎年６月に定期総会を開催しています。

当日、総会終了後に最新の社会情勢などをテーマに講演会を実施して、会員への情報提供の機会としています。

ちなみに、平成29年度は脇雅史前参議院議員に「これからの地方のあり方―今後の建設業―」、平成30年度には全国土木施工管理技士会連合会の谷口博昭会長に「これからのインフラと建設業」についてご講演いただきました。

３　主な事業活動

本会においては、JCMセミナーをはじめとしたCPDS講習会など、スキルアップのための講習会及び研修会を開催しています。

また、各支部においても、本会とは別に講習会等を実施されており、最近では、「i-Construction」「建設現場の安全管理」「ドローン測量」などのテーマで開催されました。

講演会（総会）

定時総会

講習会

活動報告 長崎県土木施工管理技士会

会　長　武藤　剛　　事務局長　馬場　耕二

所在地　〒850－0874　長崎県長崎市魚の町3－33　長崎県建設総合会館3階
TEL　095－826－2285　　FAX　095－826－2289

設　立　昭和56年12月4日
組　織　会長:1名、副会長:3名、理事:20名、
監　事　2名、支部:9支部
会員数　1,956名（令和5年8月31日現在）

本会は、会員の技術力向上並びに資質の向上を図るための研修会等の開催、本会正会員所属企業の若年者を対象とした定着化のための研修等を開催。また、現場における就労環境改善及び工事施工上の問題点等について、改善を図るべく技術委員会を開催。加えて、会員の士気を高めるため、発注機関より表彰を受けた方に対し表彰を行っている。

1．研修事業

（1）CPDS技術研修

本会正会員を対象とした研修「施工計画・原価管理・品質管理について」、全国技士会連合会発行の指定技術講習用テキストを使用した研修を県下6地区で開催。受講者：402名（5年度実績）

（2）新人研修

入職2年以内程度の方を対象に、測量実習、工事写真の撮り方、グループワーク等の研修を県下1会場で開催。受講者:24名（4年度実績）

（3）若年者研修

入職3年～5年程度の方を対象にコミュニケーション力の向上を図るためのグループワーク等の研修を県下1会場で開催。受講者：22名（4年度実績）

（4）中堅技術者研修

日常業務における問題発見の手法や問題解決の手法等を習得するための研修を県下2地区で開催。受講者：48名（4年度実績）

上記の他にも、1級土木施工管理技術検定（第二次検定）受験対策講習会、現場代理人マネジメント及び工事成績対策研修を（(一社)長崎県建設業協会等との共催により例年開催している。

CPDS技術研修

2．講演会

通常総会終了後、長崎県建築施工管理技士会との共催による講演「建設現場における労働災害防止対策について」、建災防長崎県支部の講師を招き開催。受講者：110名（5年度実績）

3．技術委員会

主に現場施工上の問題点及び現場における就労環境改善等について協議。
その結果等を基に、発注機関とフリーな形での意見交換を実施。

4．表彰

（1）全国技士会連合会会長表彰

同連合会表彰規程に基づき1）正会員の役員及び職員として表彰された方、2）本会正会員で優秀技術者・優秀工事表彰等に従事し表彰された方に対し、通常総会席上にて表彰状及び記念品等の伝達式を行っている。

（2）長崎県土木施工管理技士会会長表彰

本会表彰規程に基づき、県の公共機関から表彰を受賞（土木工事）した本会正会員を表彰している。

新人研修（測量実習）

活動報告 熊本県土木施工管理技士会

会長　山本　祐司　事務局長　福島　裕

〒862 － 0976　熊本県熊本市中央区九品寺４－６－４　熊本県建設会館２階
TEL　096 － 366 － 5111　　FAX　096 － 363 － 1192
URL　http://kumaken.or.jp/publics/index/11/

当技士会は会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的に活動しております。

活動内容は以下のとおりです。

１　表彰

（１）全国土木施工管理技士会連合会会長表彰

毎年、全国技士会連合会表彰規程に基づく本会の役員、優良工事従事者に該当する会員を表彰している。なお令和5年度受賞者は7名。

（２）熊本県土木施工管理技士会会長表彰

当技士会表彰規程に定める表彰基準（公的機関等から表彰を受けた会員、永年功績のある役員等）に該当する会員を表彰している。令和5年度受賞者は14名、20社。

２　行政機関との意見交換会

九州技士会と九州地方整備局との意見交換会を実施。令和4年度は、九州各県の会長と九州地整より10名が出席、現場施工の諸問題等について意見を交換した。

３　現場見学会

県内の代表的な建設現場の見学会を実施し、技術力の向上に努めている。令和4年度は、立野ダム工事、熊本県防災センター新築工事、熊本城復旧工事の現場を見学。参加者は17名。

４　講習会

（一社）熊本県建設業協会と共催しCPDS認定の技術研修会を開催している。令和4年度はコンクリート施工管理・生産性向上講習会をオンラインで開催し、97名の参加があった。また支部単位で建設技術者講習会や３次元データの利活用体験会等も実施している。

５　災害寄附金・見舞金の贈呈

この10年で熊本県は大規模な災害が何度も発生。特に平成28年の熊本地震、令和2年の豪雨災害は甚大な被害を受けました。この災害の際に全国技士会をはじめ全国の各技士会の皆様より頂きました支援金・見舞金を基に被災自治体や伝統建築物（熊本城、青井阿蘇神社等）へ、災害寄附金・見舞金を贈呈しました。今も続く復旧・復興工事を見ると全国技士会、各技士会の皆様へ感謝の念に堪えません。

活動報告 大分県土木施工管理技士会

会長　下村　和生

〒870 － 0046　大分県大分市荷揚町４－ 28　大分県建設会館２階
TEL　097 － 536 － 4800　　FAX　097 － 534 － 5828

本会は土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図り、良質な社会資本整備に貢献することを目的として、平成４年５月に設立しました。

会員数は法人である賛助会員が169社、個人である正会員（１級・２級土木施工管理技士及び技士補）が1,483名です。（令和５年８月末時点）

１　各研修・講習会

発注者や大分県建設業協会と共催により、近年ではICT研修会を実施し、ICT測量機器・建機に触れることで現場の生産性向上のきっかけを掴む場を提供しています。（写真１）

また新型コロナウイルス感染症拡大時には大人数の参集が困難になる中､分散化した講習（支部単位）の機会を増やすなど、社会情勢に柔軟に対応するよう努めています。

２　現場見学会

最新の技術や優れた現場管理のもと施工されている建設現場について、発注者や受注者の協力のもと現場見学会を実施し、技術者としての技術力・資質の向上に努めています。

直近では竹田水害緊急治水ダムである「玉来ダム」を見学しました。

普段は接する機会が少ない大型工事の最前線を知るとともに、意見交換を通じて技術者間の横の繋がりを深めることに寄与しています。

３　発注者との意見交換会

会員の技術力・社会的地位の向上、現場環境改善等を目的に、九州地方整備局県内事務所や大分県との意見交換会を毎年実施しています。

直近では「より一層のICT活用推進」「中小企業の技術者の育成」等のテーマについて活発な意見交換会を実施しました。（写真２）

４　関係団体との連携

大分県建設業協会が発注者と実施する「工事書類の簡素化に向けた検討会」「委託成果品の品質向上に向けた検討会」に本会の技術者も参加し、現場の生の声を日々届けています。

５　表彰

全国技士会表彰者への伝達及び本会表彰規定に基づく本会会長表彰を毎年実施しています。

・全国技士会表彰伝達　　５名
・本会会長表彰　　69名

（令和５年度実績）

（写真１）ICT研修会

（写真２）発注者との意見交換会

活動報告 宮崎県土木施工管理技士会

会　長　河野　与一　　事務局長　早瀬　　満

〒880 － 0805　宮崎県宮崎市橘通東２丁目９番19号　宮崎県建設会館２階
TEL　0985 － 31 － 4696　　FAX　0985 － 31 － 4697
URL　https://www.m-gishi.jp

当技士会は会員の品位と社会的地位の向上を目指し、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識並びにその能力・開発に努め、公共の福祉に寄与することを目的とし、講習会等の開催に重点を置いて活動しております。

活動の内容は以下のとおりです。

１　表彰

（１）技士会連合会・県技士会表彰

毎年、技士会連合会表彰規程に基づく各支部会長表彰、監事・理事表彰、優良工事従事者に該当する会員、並びに宮崎県技士会規程に基づく優良工事従事者に該当する会員を表彰している。

２　行政側との意見交換会

必要に応じて、土木施工管理技士会と行政との意見交換会を実施している。

令和５年度は、現場で起こった様々な問題を取り上げまとめられた「土木工事質疑応答集」の改定を計画しており、書類の簡素化を含めた意見交換会を実施することとしている。

また、各支部においても各土木事務所と支部の技術委員で工事検査や情報共有システムの活用について意見交換を実施した。

３　講習会

（１）技士会が主催する講習会

各地区の建設会館等を利用し、働き方改革や情報化施工など最近の建設業の話題についてCPDS認定の講習会を実施しているとともに、隔年で現場見学会を実施している。

また、宮崎県の職業訓練校の認定を受け、１、２級の土木施工管理技術検定準備講習会を５コース実施している。

ほかに、ドローン操縦士・ドローン安全運行管理者講習を実施している。

各支部（11支部）においては、毎年７月から10月にかけて、土木事務所の幹部や工事検査専門員を講師として講習会を実施し、技術の研鑽に努めている。

（２）監理技術者講習

平成16年度から技士会連合会が主催する「監理技術者講習」の会場手配、設営、受付、講師の手配等、運営を実施している。令和５年度は４月、５月、６月、８月、９月、10月、11月の７回を計画している。

（３）その他の研修

令和５年度は宮崎県生コンクリート工業組合との共催で「コンクリート関連技術者研修会」を実施した。

活動報告 鹿児島県土木施工管理技士会

会長　谷口　幸司　　事務局長　成田　昭浩

〒890 － 8512　鹿児島県鹿児島市鴨池新町６番10号
TEL　099 － 257 － 9211　　FAX　099 － 257 － 9214
URL　https://www.kakenkyo.or.jp

１　会の目的

当技士会は、会員相互の協力によって、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上を目指し、かつ、建設工事を的確に施工するために必要な専門知識及びその能力の習得に努め、もって公共の福祉に寄与することを目的としている。

２　会の組織

会員は、鹿児島県に住所を有し、（一社）鹿児島県建設業協会の会員建設業者に属する１級土木施工管理技士又は技士補で、会の目的に賛同したものであり、令和５年８月10日現在、2,760名である。

協会役員が技士会の県下各地の19名の理事と２名の監事にも就任しており、技士会の事務局職員２名は、協会と兼職している。

３　表彰

毎年、（一社）全国土木施工管理技士会連合会から表彰を受ける会員以外の優秀な技術者である会員を、表彰している。（令和５年５月は、それぞれ６名と10名であった。）

４　研修会・講習会

鹿児島県・協会との共催で、テキストと講義は県が受け持ち、開催には協会支部の協力を得て、１日がかりの「建設技術者研修会」を毎年、離島を含め県内各地18会場で19回実施しており、２千２百名前後が受講している。

そのほか、１・２級土木施工管理技術検定の受験準備講習会を鹿児島と離島で、全技連のDVD講習会を県内各地で、全技連と共催で行うJCMセミナー等を鹿児島で実施しており、会員の専門的知識・能力の向上に努めている。

建設技術者研修会

受験準備講習会

DVD講習会

活動報告 沖縄県土木施工管理技士会

会長　仲程　俊郎

〒901 － 2131　沖縄県浦添市牧港５－６－８　建設会館２階
TEL　代表098 － 876 － 5211　　FAX　098 － 870 － 4565
URL　http://www.okikenkyo.or.jp/gishikai.htm

当技士会は、土木施工管理技士の品位と社会的地位の向上及び技術水準の向上発展に努め、会員の利益と公共の福祉に寄与することを目的とし、発注者との意見交換会や現場視察研修会、各種講習会等を重点に活動しております。

１．現場視察研修会

新たな技術導入等による代表的な土木工事現場を見学し技術の研鑽に役立てる事を目的に県内及び県外、海外の現場視察研修会を実施しておりますが、令和２年度以降はコロナ感染症拡大防止の観点から中止としておりましたが、今年度以降、事業の実施を計画していく事としております。

〈令和元年度 視察研修〉

香港・マカオ

◯マカオカジノＩＲ施設

◯マカオ世界遺産地区

◯港珠澳大橋（こうじゅおうおおはし）視察。

中国広東省珠海市と香港新界離島区ランタオ島およびマカオ花地瑪堂区を結ぶ全長55kmの世界最長の海上大橋。

2009年12月15日に着工し、2018年10月23日に開通。構想から約30年あまりかかった超大型国家プロジェクトで、総工費は１千億元（約１兆６千億円）超。

２．発注者との意見交換会

毎年、国・県と現場における施工上の課題や問題点などの解決に向けての意見交換会を開催しています。

昨年度は、コロナ感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、今年度は沖縄県土木建築部と意見交換会を実施予定としております。

３．講習会

毎年、CPDSを対象とした講習会を実施している。令和５年度はDVDセミナー「残業を削減する７つの方法」を開催し、100名の会員が受講した。

また、国・県及び関係団体が主催する講習会を会員へ周知し積極的に参加させている。

４．表彰

当技士会表彰規程に定める基準により、該当する会員を毎年表彰している。

現場視察研修会

発注者との意見交換

活動報告 日本橋梁建設土木施工管理技士会

会長　上平　悟（エム・エム ブリッジ㈱ 技師長）　　事務局長　武石　和夫

〒105 － 0003　東京都港区西新橋１－６－11　西新橋光和ビル９階
TEL　03 － 3507 － 5234　　FAX　03 － 3507 － 5235

１．概要

本会は、主に鋼橋（鉄の橋）の製作・架設・維持補修を行う、北は北海道から南は九州までの会員会社30社の技術者により構成されています。会員数は3,935名（10年前は3,426名）になりました。

２．組織構成

理事12名、監事２名、評議員14名で企画立案した議案に基づき、上平悟会長、中村譲副会長、小林雄紀企画広報委員長、佐々木利光副委員長、中野慶太教育安全委員長、永島哲之副委員長、寺西 功技術顧問、武石和夫事務局長等が執行運営しています。

３．主な年間活動

①**１級土木施工管理技士受験準備講習会**：大阪、東京共に３日間コースを実施、主な講師は会員会社の委員が自前で担当。当技士会の会員に応じた講習を行っていますので、合格率も良好です。

②**橋建技士会通常総会** ６月（東京）：今年度の特別講演には（一財）建設業技術者センター谷口博昭理事長に「コロナ後のインフラ・橋梁と技術経営のビッグピクチャー」の講演をお願いし、土木学会会長時に提案された「Beyondコロナの日本創生と土木のビッグピクチャー」について熱く語っていただきました。

③**橋梁現場研修会** 10月：昨年度は２年ぶりに開催。新濃尾大橋（木曽川を渡河する橋長994ｍの鋼連続非合成箱桁橋）（愛知県；横河・JFE JV）を見学。天気にも恵まれ、62名の参加者は様々な工夫がなされた送出し架設工法を一生懸命勉強していました。

④**『橋建技士会だより』の発刊** 11月：昨年度は森 昌文内閣総理大臣補佐官に巻頭言として「国土強靭化の取組の重要性」をご執筆いただき、最優秀論文賞を受賞したエム・エム ブリッジ㈱の北川淳一氏には熊本地震により損傷した鉄道橋の白川第一橋りょうの撤去についての執筆、その他ベテランから若手技術者、活躍する女性社員の声等を掲載し40ページのカラー版を発行しました。

⑤**技術論文・技術報告の提出**：会長方針により多くの論文・報告を提出する活動を実施しています。

⑥**若手技術者のための鋼橋技術講習会**：２月
（１）トルコ共和国 ボスポラス橋の保全工事
（２）多摩川スカイブリッジの設計・施工
（３）黄瀬川大橋の災害復旧－42日間の軌跡－
（４）大型基礎工事の現場経験とこれからの働き方
（５）平成28年熊本地震での橋梁復旧への教訓と工夫

当日は大雪の予報が出ていましたが、北海道から九州まで参加予定者99名全員の出席となりました。参加者からは「各講義とも非常に興味深い内容だったため、あっという間の半日間でした。仕事に対するやる気が向上したように感じます」などの感想がありました。

新濃尾大橋現場研修会集合写真 (2022.10.28)

黄瀬川大橋災害復旧工事：川田工業㈱
「桁撤去時」2021.8.14 撮影：若手技術者のための鋼橋技術講習会(2023.2.10)発表資料より

活動報告 日本塗装土木施工管理技士会

会長　加藤　敏行　　専務理事　八子　秀康

〒103 － 0025　東京都中央区日本橋茅場町２－４－５　茅場町２丁目日ビル　３階
TEL　03 － 6231 － 1910　FAX　　03 － 3662 － 3317

本会は、塗装土木施工管理技士の技術力及び社会的地位の向上を図り、重防食塗装技術による橋梁や水門等の社会インフラの長寿命化に貢献し、国民生活の向上に寄与することを目標として、平成13年６月に設立されました。現在会員数は300名程度と少数ですが、会員同士情報交換しながら一致団結して活動しています。

主な活動としては、一般社団法人日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会と共催で講習会等を開催しています。

１　技術発表大会

インフラ老朽化対策の取組みの紹介、塗装に関する最新の話題や塗装作業における安全衛生管理などをテーマに毎年５月に開催しています。

２　２級土木施工管理技術検定（鋼構造物塗装）受験準備講習会

国家資格の検定試験に向けて、受験予定者を対象に受験準備講習会を東京・大阪・福岡の３会場で開催（例年９月）しています。２級土木施工管理技士に求められる知識をテキスト、過去問題を使用し、わかりやすく丁寧に説明しています。

３　高塗着スプレー塗装工法講習会

塗着効果が高く、塗料の飛散が極めて少ない環境にやさしい高塗着スプレー塗装工法を用いた工事に要求される専門的な知識と安全性等の施工管理能力を有する「高塗着スプレー塗装施工管理技術者」の認定試験・講習及び「高塗着スプレー塗装技能者」講習を通じて管理技術者及び技能者の養成を行っています。

活動報告 一般社団法人 現場技術土木施工管理技士会

会長　森井　淳司　　常務理事（事務局長）　佐々木　一英

〒101 － 0031　東京都千代田区東神田１－７－８　プライム東神田５階
TEL　代表03 － 5833 － 8017　　FAX　03 － 5833 － 8018
URL https://www.ecma.jp/

現場技術土木施工管理技士会は、発注者支援業務に従事する技術者を中心に、会員相互の協力によって、土木施工管理技術に関する幅広い情報の交換、技術研修、研鑽と社会的地位の向上及び優秀な技術者の確保、育成と、その社会的評価の向上に努め、社会資本整備の推進と国民生活の向上に寄与することを目的に、平成19年３月に設立しました。今年で17年目となり、東北から九州までの法人会員44社と会員数約2,300名での活動を行っています。

１　組織について

当技士会は、各法人会員から選出された会長、副会長を含めた16名の役員で構成されています。また、委員会として、企画広報委員会、組織委員会、研修委員会があり、技士会運営上のそれぞれの課題に取り組んでいます。

今年度は、業界全体の課題である「若手技術者確保」に向けた取り組みを行い、業界認知度向上に努めています。

２　会員の就業内容について

当会会員は、発注者支援業務（工事監督支援、積算技術、技術審査）に従事する技術者をはじめ、公物管理補助業務、行政事務補助業務（調査設計資料作成、用地調査点検等技術など）や施工体制調査業務など、さまざまな就業内容に対応しており、発注機関の職員を支援することで、円滑な行政執行につなげる大切な役割を担っています。

また、就業に係わる対象施設も、河川、砂防、道路、ダムなどの幅広いインフラ施設を対象とした仕事であることも特徴となっています。

３　活動状況について

当技士会の主な事業としては、まず土木施工管理技士の技術力向上を目的とした「スキルアップ講習会」を、設立した翌年から毎年開催し、会員の専門知識と技術力向上を支援するための活動を行っています。コロナ感染が始まる令和元年までは、東北から九州の全国９会場で上期・下期あわせて年間18回の対面での講習会を実施していましたが、近年のコロナ禍において、対面での講習会開催は厳しい環境であることに鑑み、令和４年からZoomウエビナーによるインターネットを活用したライブ方式での講習会を実施しています。令和５年度は、２テーマによる講習会を上期・下期に合わせて年間８回の開催を予定しています。上期の講習会は、会員の興味が最も高いBIM/CIMをテーマとして行われ、1,100名の受講者となりました。

次に、会員の就業状況や環境、業務における課題を把握するため、毎年アンケートを実施しており、この結果を基に企画広報委員会で意見交換会議題としてとりまとめ、「国土交通省との意見交換会」を本省及び６地方整備局（東北、関東、中部、近畿、中国、九州）にて実施しています。意見交換を行うことで、お互いの現状と課題を把握し、官民一体となって努力し解決することで、より良い就業環境づくりと質の高いインフラ整備に繋げていきます。

インターネット講習会の実施状況

４　事務局について

当会事務局は、千代田区東神田にあり、５名で運営しています。事務局のテナントビルは、周囲の角張った建物とは異なり人の目を引く円形の建物で、周辺までくればすぐに見つけられる特徴的な建物です。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

資料

JCM 30th

■全国土木施工管理技士会連合会年表

年度	全国土木施工管理技士会連合会関係	土木施工管理技士合格者数
昭和44年度（1969）		一級土木：8,263人
昭和45年度（1970）		一級土木：5,158人 二級土木：125,695人
昭和46年度（1971）	土木施工管理技士会設立の準備打合せ会開催（建設省、都道府県、業会団体代表）	一級土木：4,649人 二級土木：91,892人
昭和47年度（1972）	4．建設省関東地方建設局にあった「土木施工管理技術研究会」（関東建設弘済会が事務局）が名称と業務をそのまま引き継ぎ㈶全国建設研修センターの附属機関として設置された	一級土木：4,451人 二級土木：9,579人
昭和48年度（1973）		一級土木：6,364人 二級土木：9,156人
昭和49年度（1974）	4．「土木技術者（有資格者）のための資料頒布会」を創設（会員4,500名）　事務局は㈶全国建設研修センター内「土木施工管理技術研究会」に置き、後の土木施工管理技士会の母体となる 5．31「土木技術者（有資格者）のための資料頒布会」より季刊誌「建設情報」第１号が発刊される	一級土木：9,764人 二級土木：22,193人
昭和50年度（1975）		一級土木：14,850人 二級土木：22,891人
昭和51年度（1976）	6．22　全国最初の技士会誕生（静岡県土木施工管理技士会設立）	一級土木：13,252人 二級土木：21,988人
昭和52年度（1977）	4．「土木技術者のための資料頒布会」が、「土木施工管理技士会」と改称　同時に事務局が㈶全国建設研修センター内から、㈶地域開発研究所へ移る 8．1　土木施工管理技士会会報PR号発刊 9．1　土木施工管理技士会会報第１号発刊 1．1　土木施工管理技士会会報を「土木施工管理技士情報」と改名（第５号）	一級土木：11,043人 二級土木：19,890人
昭和53年度（1978）	4．土木施工管理技士会全国協議会の第１回協議会を開催し、「（社）土木施工管理技士会（仮称）」発足へ向け合意 1．19「土木施工管理技士会全国連絡協議会」の組織を従来の土木施工管理技士会、４つの地方技士会、及び以後設立される技士会から構成されることを決定 「全国連絡協議会」と「中央部会」の事務局を千代田区飯田橋3-11-13に置いた	一級土木：10,115人 二級土木：25,340人
昭和54年度（1979）	6．10「土木施工管理技士会全国連絡協議会運営委員会」で協議会の役員を選出	一級土木：8,346人 二級土木：24,976人
昭和55年度（1980）	6．1「土木施工管理技士会全国連絡協議会」が「全国土木施工管理技士会」に改称 8．29　全国土木施工管理技士会の役員が運営委員会で指名される 1．「土木施工管理技士会全国連絡協議会」と「全国土木施工管理技士会中央部会」の事務局を新宿区市ヶ谷砂土原町へ移転	一級土木：10,897人 二級土木：30,084人
昭和56年度（1981）		一級土木：13,098人 二級土木：34,258人
昭和57年度（1982）		一級土木：15,194人 二級土木：35,094人
昭和58年度（1983）		一級土木：19,508人 二級土木：39,096人
昭和59年度（1984）		一級土木：13,260人 二級土木：37,715人
昭和60年度（1985）		一級土木：10,067人 二級土木：29,890人
昭和61年度（1986）		一級土木：7,992人 二級土木：29,939人

年度	全国土木施工管理技士会連合会関係	土木施工管理技士合格者数
昭和62年度（1987）		一級土木：8,960人 二級土木：28,513人
昭和63年度（1988）		一級土木：19,051人 二級土木：36,579人
平成元年度（1989）		一級土木：37,960人 二級土木：38,198人
平成２年度（1990）		一級土木：35,727人 二級土木：34,567人
平成３年度（1991）		一級土木：16,723人 二級土木：27,763人

平成４年２月27日　（社）全国土木施工管理技士会連合会（全国技士会）設立　事務所を港区東麻布に構える
初代会長　増岡康司氏

平成４年度（1992）	4．15　機関誌「JCMマンスリーレポート」創刊号発刊（2019年１月号から「JCMレポート」に改称） 5．25　法人化後第１回理事会・総会開催 6．19　韓国建設技術人協会長来訪 6．25　設立披露祝賀会 7．22　土木施工管理技術研修用テキスト編集委員会設置 7．31　法人化後第１回事務局長（事務担当者）会議開催 8．6　土木施工管理技術研修用テキスト改訂ワーキンググループ設置 11．24　全国技士会講習会「通年施工化技術講習会」を東日本10会場で開催以降各年で技術講習会を全国で開	一級土木：11,325人 二級土木：25,927人
平成５年度（1993）	4．21　指定建設業監理技術者講習会（土木コース）への協賛及び受託業務開始 6．　要望書を建設省に提出	一級土木：9,781人 二級土木：29,126人
平成６年度（1994）	9．　土木施工管理技士の実態調査まとまる 12．9　全国技士会は事務所を千代田区九段南４-８-30アルス市ヶ谷ビル３階に移転	一級土木：14,490人 二級土木：27,659人
平成７度（1995）	4．19　監理技術者講習会の受託業務開始　講習が奈良会場を皮切りに始まる 3．29　暫定会費制度の制定	一級土木：13,437人 二級土木：36,874人
平成８年度（1996）	7．15　企画運営委員会、技術委員会、編集委員会を設置 3．25　第２代会長に長尾満氏就任 3．25　「土木施工管理技士会倫理綱領」の制定	一級土木：21,064人 二級土木：39,873人
平成９年度（1997）	5．14　技術論文表彰制度の制定 5．14　技術論文審査委員会 5．27　入会基準を定める 7．10　ホームページ開設 7．17　技術論文表彰式開催　以降毎年開催 10．29　表彰制度の創設	一級土木：21,641人 二級土木：46,032人
平成10年度（1998）	5．26　暫定会費制度の制定 5．26　表彰制度の制定 7．16　優良工事従事者の表彰 12．8　関係省庁に要望活動を行う以降毎年実施 3．24　優良技士会功労役員等の表彰	一級土木：18,970人 二級土木：39,777人
平成11年度（1999）	7．12　建設大臣優良団体表彰受賞 7．13　正式会費制度の制定 3．14　「継続的専門能力啓発システム（土木施工管理／CPDS）」の導入を決定 3．14　「CPDS基金」を新設	一級土木：23,896人 二級土木：49,959人

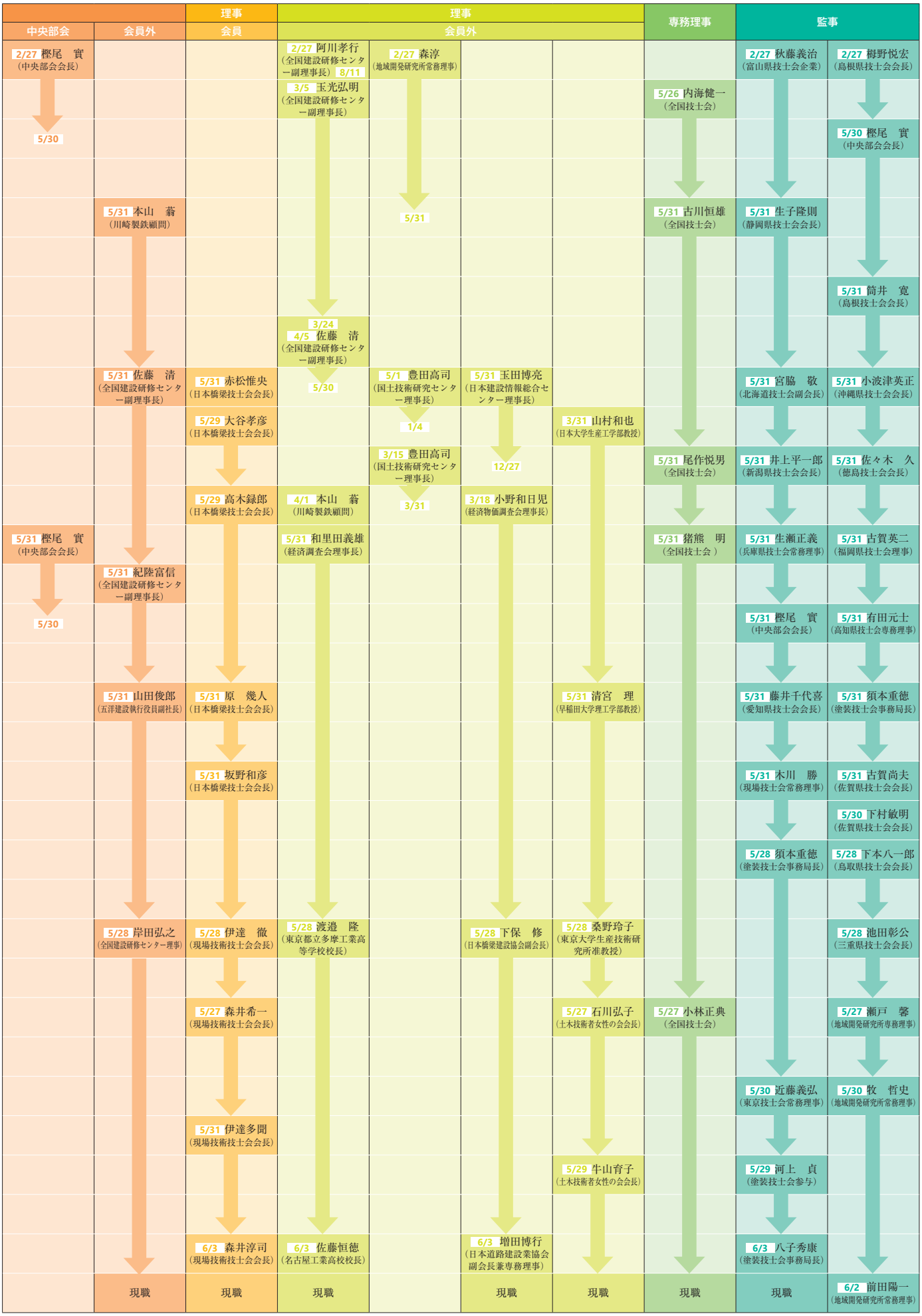
年度	全国土木施工管理技士会連合会関係	土木施工管理技士合格者数
平成12年度（2000）	4．1　「建設工事事故情報分析（SAS）」のデータベース開設 5．19　「公益法人指導監督基準」に沿って定款を改定し、理事数の変更を行う 5．30　第３代会長に本山蓊氏就任 7．18　土木施工管理技士誕生30周年記念式典開催 8．11　CPDS登録システムの稼働開始 8．23　CPDS指定技術講習会開催以降各年でCPDS指定技術講習会を全国で開催 9．24　CPD等調査団米国派遣 10．10　JCM公認講師制度の制定 10．15　CPD等調査団英国派遣	一級土木：25,312人 二級土木：45,610人
平成13年度（2001）	12.　CPDS指定技術講習用テキスト４分冊を新規発行 1．16　海外調査団の受入れ（中国）	一級土木：27,348人 二級土木：40,226人
平成14年度（2002）	3．22　継続教育に関する海外調査団を受入れ（韓国） 7．23　設立10周年記念式典開催	一級土木：29,238人 二級土木：28,065人
平成15年度（2003）	4．1　第４代会長に豊田高司氏就任 7．25　建設系CPD協議会が設立され、創設時加盟団体となる 11.　第１回土木施工管理技士に関するアンケートの実施 .　以降３年毎に実施	一級土木：28,780人 二級土木：16,983人
平成16年度（2004）	7．30　国土交通大臣から監理技術者講習実施機関の登録証交付（国土交通大臣登録番号第５号）監理技術者講習開始JCM公認講師制度を監理技術者講習講師登録と統合 11．25　従来の要望活動に替え国土交通省との意見交換会を実施する以降各年で実施	一級土木：18,174人 二級土木：13,134人
平成17年度（2005）	4 9　公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）施行 「品質確保促進ガイドライン」で配置予定技術者の評価項目に継続教育（CPD）が計上される。H18以降、活用の範囲が広がり、技士会会員、CPDS会員増につながる。	一級土木：19,379人 二級土木：15,639人
平成18年度（2006）	4．　技士会ブロックと地方整備局長等との意見交換会を実施する以降全てのブロックで各年で実施 7．　CPDS指定技術講習会をJCMセミナーに名称変更	一級土木：10,667人 二級土木：6,931人
平成19年度（2007）		一級土木：12,899人 二級土木：10,834人
平成20年度（2008）	4．　建設系CPD協議会事務局業務受託（H20,21年） 5．31　第５代会長に小林康昭氏就任 10．12　現場改善等調査団米国派遣	一級土木：9,743人 二級土木：8,759人
平成21年度（2009）	12．14　実務担当者会議開催が行われるようになる	一級土木：6,544人 二級土木：6,928人
平成22年度（2010）	8．6　CPDSを商標登録 12.　電子書籍販売開始 1．6　現場改善等調査団欧州派遣 土木施工管理技士中央部会はその役目を終えて定款の規定により会員資格を喪失	一級土木：5,720人 二級土木：7,957人
平成23年度（2011）	5．　施策提言委員会設置 5．　国際技術者委員会設置 6．　JCM　DVDセミナー開催 7．1　現在の50技士会体制が整う 8．25～26　東北日本大震災視察（岩手県） 10．　JCM　特別セミナー開催	一級土木：5,544人 二級土木：6,598人
平成24年度（2012）	4．1　公益法人制度改革により全国技士会は法人格を一般社団法人へ変更する 5．28　設立20周年記念式典開催 6．17　どぼく検定開始（令和２年度で終了） 8．7～8　東北日本大震災視察（宮城県） 9．8　現場改善のためのリーンコンストラクション会議発表（北欧）	一級土木：9,585人 二級土木：6,844人

年度	全国土木施工管理技士会連合会関係	土木施工管理技士合格者数
平成25年度 (2013)	CPDS加入者が15万人を突破 6．7　第１回土木工事写真コンテスト募集開始 8．29～30　東日本大震災視察（福島県）	一級土木：10,299人 二級土木：12,238人
平成26年 (2014)	5．28　第６代会長に谷口博昭氏就任 9．9～10　東日本大震災視察（岩手県２回目） 12．24　事務所を千代田区五番町の現事務所に移転	一級土木：11,064人 二級土木：9,732人
平成27年 (2015)	8．25～26　東日本大震災視察（宮城県２回目）	一級土木：10,266人 二級土木：11,518人
平成28年 (2016)	5．27　副会長定数及び理事定数を増やし全ブロックからの選出とする 6　担い手３法に関するアンケート調査を実施 9．8～9　東日本大震災視察（福島県２回目） 3．30　施策提言委員会と国際・技術者制度委員会を廃し、新たに施策・活動提言委員会を設置	一級土木：10,219人 二級土木：10,401人
平成29年 (2017)	9．12～13　現地視察（熊本県）	一級土木：9,424人 二級土木：11,928人
平成30年 (2018)	4．1　ホームページをリニューアル 8．26「より良い設計図書の作成のために」発刊し、関係機関等に配布 9．13～14　現地視察（静岡県）	一級土木：9,521人 二級土木：11,878人
令和元年 (2019)	9．12～13　現地視察（広島県）	一級土木：11,190人 二級土木：12,768人
令和２年 (2020)	コロナ感染症の影響で業務形態が大きく変化 5．29　総会出席は４技士会でほとんどが書面表決（まだリモートの機材が未導入） 5．29　第７代会長に奥野晴彦氏就任 6．20　技術論文表彰式を国交省、連合会、受賞者（２か所）の４か所を結びリモートで実施 12　国交省との意見交換会、事務局長会議はリモートで実施。現地視察は中止（令和４年まで） 1．1　監理技術者講習の有効期間が受講日より５年間から受講した年の５年後の12月31日までに変更された。	一級土木：7,499人 二級土木：13,014人
令和３年 (2021)	4．1　経営事項審査においてCPDが加点項目に追加された。これによりＣＰＤＳの会員数、登録申請、証明申請の増加につながる。 4．1　施工管理技士補（１級、２級）の資格が新設され、これまでは学科と実地共に合格して施工管理技士となっていたが、試験が１次と２次となり、１次に合格すれば技士補になれ、２次に合格して施工管理技士となれる。 5．26　総会出席は５技士会で他は議長への委任、書面表決（リモートで中継するも出席扱いはせず）） 6．7　業務システムを現システムに更新 12　国土交通省との意見交換会はリモートで実施 12　事務局長会議は対面とリモートの混在で実施 現地視察は中止	一級土木 （一次）：22,851人 （二次）：9,732人 二級土木 （一次）：32,105人 （二次）：11,838人
令和４年 (2022)	12　国交省との意見交換会、事務局長会議は対面に戻る 現地視察は中止 設立30周年記念式典を予定していたがコロナ感染症の影響で次年度に延期	一級土木 （一次）：21,097人 （二次）：7,032人 二級土木 （一次）：27,989人 （二次）：12,409人
令和５年 (2023)	6．2　設立30周年記念式典開催 9．14～15　現地視察（北海道）	

■（一社）全国土木施工管理技士会連合会　歴代役員一覧

年度＼職名	会長（１名）	副会長								
		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
平成４年（1992）	2/27 増岡康治（参議院議員）	2/27 上田俊一（北海道技士会会長）		2/27 武藤　彬（茨城県技士会会長）		2/27 中村　進（静岡県技士会会長）	2/27 貴志敏一（和歌山県技士会会長）		2/27 北村牛基（高知県技士会会長）	
平成５年（1993）		5/26								
平成６年（1994）		5/30 倉橋力雄（北海道技士会会長）	5/30 脇川利勝（青森県技士会会長）				5/30	5/30 宮崎　衛（山口県技士会会長）	5/30	5/30 鍋田政治（福岡県技士会会長）
平成７年（1995）										
平成８年（1996）						5/31		5/31		5/27
平成９年（1997）	3/25 長尾　満（日本建設機械化協会会長）									3/25 平田昭義（福岡県技士会会長）
平成10年（1998）		5/30		3/7 5/31 桑原　隆（山梨県技士会会長）			5/31 小原敬冶（滋賀県技士会会長）	5/31 萩原　明（岡山県技士会会長）		5/31 伊藤照紘（宮崎県技士会会長）
平成11年（1999）										1/23
平成12年（2000）	5/31 本山　蓊（川崎製鉄顧問）			5/30 7/18 松尾助右衛門（神奈川県技士会会長）		5/31 宮本武蔵（三重県技士会会長）	5/30 宮本武蔵（三重県技士会会長）	5/30	5/31 村上　博（香川県技士会会長）	5/31 平田昭義（福岡県技士会会長）
平成13年（2001）										
平成14年（2002）				5/31 松本憲典（千葉県技士会会長）		5/30	5/31 三木尚敏（兵庫県技士会会長）	5/31 高力修一（鳥取県技士会会長）	5/30	5/30
平成15年（2003）	4/1 豊田高司（国土技術研究センター理事長）			1/27 3/18 米本利雄（千葉県技士会会長）						
平成16年（2004）		5/31 眞田　眞（北海道技士会会長）	5/30	5/30		5/31 藤井千代喜（愛知県技士会会長）	5/30	5/30	5/31 佐々木久（徳島県技士会会長）	5/31 下村晴彦（長崎県技士会会長）
平成17年（2005）										
平成18年（2006）		5/30	5/31 脇川利勝（青森県技士会会長）		5/31 藤川　猛（富山県技士会会長）	5/30	5/31 絹川　治（京都府技士会会長）	5/31 筒井　寛（島根県技士会会長）	5/30	5/31 宮川政蔵（熊本県技士会会長）
平成19年（2007）	6/19 紀陸富信（代行）（全国建設研修センター副理事長）							5/30 長岡秀治（島根県技士会会長）		
平成20年（2008）	5/31 小林康昭（足利工業大学工学部教授）		5/31 三瓶英才（福島県技士会会長）	5/31 林　博（長野県技士会会長）	5/30	5/31 前田守廣（岐阜県技士会会長）	5/30	5/30	5/31 宮田益吉（高知県技士会会長）	5/31 黒木幸紀（宮崎県技士会会長）
平成21年（2009）										5/25 竹尾通洋（宮崎県技士会会長）
平成22年（2010）		5/31 熊谷勝弘（北海道技士会会長）	5/31	5/31 依田一志（山梨県技士会会長）		5/31	5/31 森本　治（滋賀県技士会会長）	5/31 島田伸彦（広島県技士会会長）	3/20	
平成23年（2011）										
平成24年（2012）				5/28 松本泰典（埼玉県技士会会長）		5/28 山田壽久（静岡県技士会会長）	5/28	5/28	5/28 星加隆夫（愛媛県技士会会長）	5/28 下村敏明（佐賀県技士会会長）
平成25年（2013）										
平成26年（2014）	5/28 谷口博昭（国土技術研究センター理事長）	5/28	5/28 北林一成（秋田県技士会会長）	5/28 野口和明（群馬県技士会会長）		5/28	5/28 森本　治（滋賀県技士会会長）	5/28 勝井　優（山口県技士会会長）	5/28	
平成27年（2015）										
平成28年（2016）		5/27 川崎博巳（北海道技士会会長）		5/27 入江和夫（栃木県技士会会長）	5/27 猪股　茂（新潟県技士会会長）	5/27 沼野秀樹（愛知県技士会会長）	5/27 岡野益巳（京都府技士会会長）	5/27 長岡秀治（島根県技士会会長）	5/27 朝倉一郎（香川県技士会会長）	5/27 山本祐司（熊本県技士会会長）
平成29年（2017）										
平成30年（2018）				5/30 尾曽正人（茨城県技士会会長）	5/30 高田　均（富山県技士会会長）	5/30 前田守廣（岐阜県技士会会長）	5/30 三木健義（兵庫県技士会会長）	5/30 福本健治（岡山県技士会会長）	5/30 五藤康人（徳島県技士会会長）	5/30 小田修一郎（大分県技士会会長）
令和元年（2019）									5/31 田邊　聖（高知県技士会会長）	
令和２年（2020）	5/29 奥野晴彦（関東地域づくり協会理事長）			5/29 長谷川辰巳（神奈川県技士会会長）	5/29 鶴山庄市（石川県技士会会長）	5/29 竹上亀代司（三重県技士会会長）	5/29 奥野博明（大阪府技士会会長）	5/29 加藤修司（広島県技士会会長）		5/29 河野与一（宮崎県技士会会長）
令和３年（2021）										
令和４年（2022）				6/3 小宮山房信（千葉県技士会会長）	6/3 鈴木秀城（新潟県技士会会長）	6/3 中村嘉宏（静岡県技士会会長）	6/3 山上雄平（奈良県技士会会長）	6/3 影井一清（鳥取県技士会会長）	6/3 浅田春雄（愛媛県技士会会長）	6/3 谷口幸司（鹿児島県技士会会長）
令和５年（2023）	現職	現職	現職	現職	現職	現職	6/2 山辺元康（奈良県技士会会長）	現職	現職	現職

※平成４年～平成11年の会員理事につきましては、スペースの都合上P80に掲載しています。


中央部会
会員外
理事
会員
理事
会員外
専務理事
監事
2/27 樫尾　實（中央部会会長）
5/30
5/31 樫尾　實（中央部会会長）
5/31 本山　蓊（川崎製鉄顧問）
5/31 佐藤　清（全国建設研修センター副理事長）
5/31 紀陸富信（全国建設研修センター副理事長）
5/30
5/31 山田俊郎（五洋建設執行役員副社長）
5/28 岸田弘之（全国建設研修センター理事）
現職
2/27 阿川孝行（全国建設研修センター副理事長）
8/11
3/5 玉光弘明（全国建設研修センター副理事長）
3/24
4/5 佐藤　清（全国建設研修センター副理事長）
5/30
4/1 本山　蓊（川崎製鉄顧問）
5/31 和里田義雄（経済調査会理事長）
5/28 渡邉　隆（東京都立多摩工業高等学校校長）
6/3 佐藤恒徳（名古屋工業高校校長）
現職
2/27 森淳（地域開発研究所常務理事）
5/31
5/1 豊田高司（国土技術研究センター理事長）
1/4
3/15 豊田高司（国土技術研究センター理事長）
3/31
現職
5/31 玉田博亮（日本建設情報総合センター理事長）
12/27
3/18 小野和日児（経済物価調査会理事長）
5/28 下保　修（日本橋梁建設協会副会長）
6/3 増田博行（日本道路建設業協会副会長兼専務理事）
現職
3/31 山村和也（日本大学生産工学部教授）
5/28 桑野玲子（東京大学生産技術研究所准教授）
5/27 石川弘子（土木技術者女性の会会長）
5/29 牛山育子（土木技術者女性の会会長）
現職
5/26 内海健一（全国技士会）
5/31 古川恒雄（全国技士会）
5/31 尾作悦男（全国技士会）
5/31 猪熊　明（全国技士会 ）
5/27 小林正典（全国技士会）
現職
2/27 秋藤義治（富山県技士会企業）
5/31 生子隆則（静岡県技士会会長）
5/31 宮脇　敬（北海道技士会副会長）
5/31 井上平一郎（新潟県技士会会長）
5/31 生瀬正義（兵庫県技士会常務理事）
5/31 樫尾　實（中央部会会長）
5/31 藤井千代喜（愛知県技士会会長）
5/31 木川　勝（現場技士会常務理事）
5/28 須本重徳（塗装技士会事務局長）
5/30 近藤義弘（東京技士会常務理事）
5/29 河上　貞（塗装技士会参与）
6/3 八子秀康（塗装技士会事務局長）
現職
2/27 樫野悦宏（島根県技士会会長）
5/30 樫尾　實（中央部会会長）
5/31 筒井　寛（島根技士会会長）
5/31 小波津英正（沖縄県技士会会長）
5/31 佐々木　久（徳島技士会会長）
5/31 古賀英二（福岡県技士会理事）
5/31 有田元士（高知県技士会専務理事）
5/31 須本重徳（塗装技士会事務局長）
5/31 古賀尚夫（佐賀県技士会会長）
5/30 下村敏明（佐賀県技士会会長）
5/28 下本八一郎（鳥取県技士会会長）
5/28 池田彰公（三重県技士会会長）
5/27 瀬戸　馨（地域開発研究所専務理事）
5/30 牧　哲史（地域開発研究所常務理事）
6/2 前田陽一（地域開発研究所常務理事）
現職

■平成４年～平成 11 年までの会員理事

年度	理事								
平成４年 (1992)		2/27 脇川勝利 (青森県技士会会長)	2/27 小野寺希夫 (岩手県技士会会長) 9/21	2/27 若生金郎 (宮城県技士会会長) 5/25	5/25 奥田和男 (宮城県技士会会長)	2/27 高内壮介 (栃木県技士会会長)	2/27 廣田豊作 (埼玉県技士会会長) 5/25	5/25 島崎敬一 (埼玉県技士会会長)	2/27 本間　茂 (新潟県技士会会長)
平成５年 (1993)	5/26 倉橋力雄 (北海道技士会会長)		3/5 望月　茂 (岩手県技士会会長)						
平成６年 (1994)	5/30 小原敬治 (滋賀県技士会会長)	5/30 志賀久太郎 (福島県技士会会長)		5/30 原　俊夫 (愛知県技士会会長)	5/30				
平成７年 (1995)									
平成８年 (1996)		1/28 5/31 栂野悦宏 (島根県技士会会長)			5/31 奥田和男 (宮城県技士会会長)				5/31 植木　馨 (新潟県技士会会長)
平成９年 (1997)						12/31			
平成10年 (1998)	5/31 倉橋力雄 (北海道技士会会長)	5/31 武田　寛 (広島県技士会会長)			5/31 酢屋　潔 (秋田県技士会会長)	5/31 池原　透 (群馬県技士会会長)		5/31	
平成11年 (1999)									3/24 4/7 松山鶴吉 (新潟県技士会会長)
平成12年 (2000)	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30			5/30

（つづき）

年度	理事								
平成４年 (1992)	2/27 鶴山　務 (石川県技士会会長)	2/27 山浦和人 (長野県技士会会長)	2/27 宮本武蔵 (三重県技士会会長)	2/27 三木尚敏 (兵庫県技士会会長)	2/27 来間　廉 (鳥取県技士会会長)	2/27 宮崎　衛 (山口県技士会会長)	2/27 別枝　明 (香川県技士会会長)	2/27 白石尚三 (愛媛県技士会会長)	2/27 大城栄信 (沖縄県技士会会長)
平成５年 (1993)									
平成６年 (1994)		5/30		5/30 貴志敏一 (和歌山県技士会会長)	5/30 細田繁基 (鳥取県技士会会長)	5/30 吉岡　林 (宮崎県技士会会長)		5/30 岡　平八郎 (愛媛県技士会会長)	5/30 大濱　寛 (沖縄県技士会会長)
平成７年 (1995)									
平成８年 (1996)		5/31 前川幸一 (岐阜県技士会会長)			5/31 井木久博 (鳥取県技士会会長)	5/31 木田芳人 (宮崎県技士会会長)	5/31 佐々木　久 (徳島県技士会会長)		
平成９年 (1997)									
平成10年 (1998)		5/31 苅谷二郎 (岐阜県技士会会長)		10/12	5/31 別枝　明 (香川県技士会会長)	5/31 樫尾　實 (中央部会会長)		5/31 平田昭義 (福岡県技士会会長)	5/31 小波津英正 (沖縄県技士会会長)
平成11年 (1999)		7/13 正田武夫 (岐阜県技士会会長)		4/7 伊丹　彰 (和歌山県技士会会長)	7/13 村上　博 (香川県技士会会長)				
平成12年 (2000)	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30	5/30

JCM 設立30周年記念誌
令和５年12月１日発行

ⓒ 編集・発行　一般社団法人　全国土木施工管理技士会連合会

不許複製

〒102－0076　東京都千代田区五番町６－２
ホーマットホライゾンビル１階
TEL 03－3262－7421（代表）
URL https://www.ejcm.or.jp/
印刷・製本　第一資料印刷㈱

JCM

設立30周年記念誌